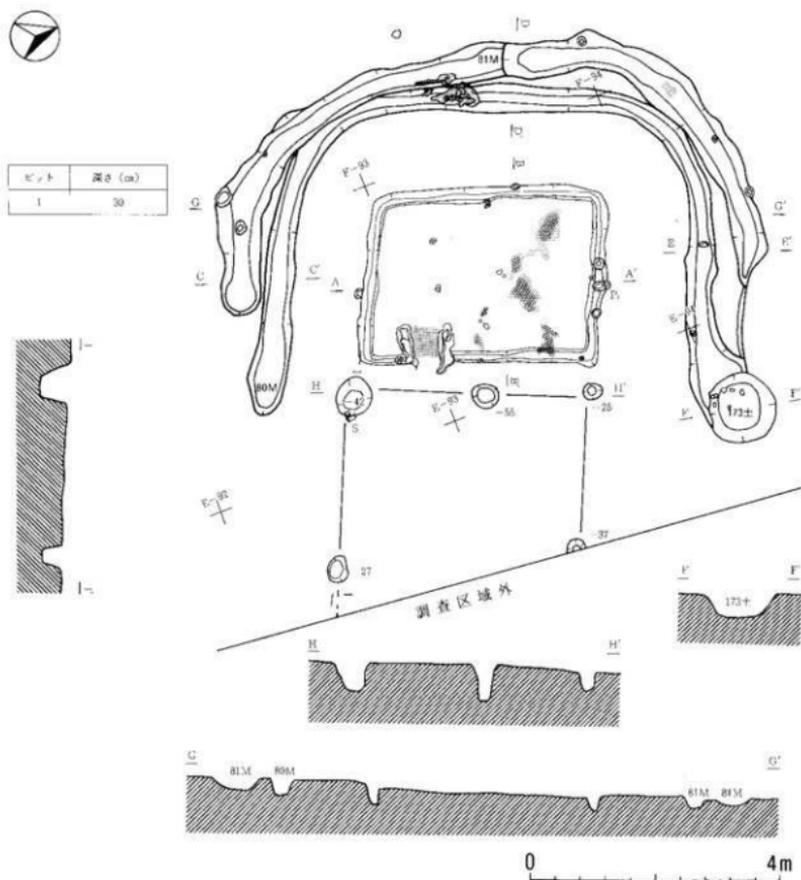


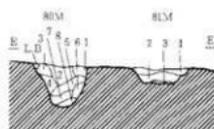
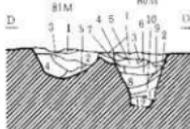
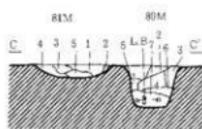
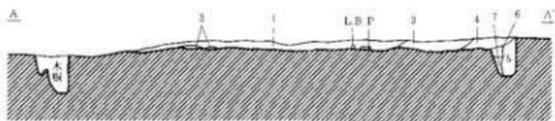
第15号建物跡 観察一覧表

位置	E～F-92～93	図版番号	第V-1-47～51図	写真図版番号	11-1～6						
重複関係	なし 外周溝 81M>80M										
壁	法量	壁長 (m)	東壁	3.78	西壁	3.77	南壁	2.74	北壁	2.73	
		壁高 (m)	—	—	13	—	—	—	—	17	
		周溝幅 (m)	—	11	—	23	—	(12)	—	20	
		周溝深さ (m)	—	(7)	—	23	—	(30)	—	24	
	平面形	長方形	床面積	約7.7㎡		土軸方位	N-110°-E				
	壁	ほぼ垂直に立ち上がる。(西・北壁)					床	凹凸がある。			
	周溝	一巡する。									
	穴部	ビット	9個検出された。 主柱穴は、不明である。								
		かまど	遺存状態	良好	位置	東壁の南寄りである。					
		堆積土	9層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。								
出土遺物		堆積土	— 土師器壺29、須恵器杯1								
出土遺物		床面	— 土師器壺11、須恵器壺1								
出土遺物		かまど堆積土	— 土師器壺8								
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-80M、81M、土坑-173土										
小結											
掘立柱部	規模	桁行1間(総長2.74m-南)×梁間2間(総長3.76m-西)									
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。									
	柱穴	径	30cm～63cm楕円形の掘り方である。								
	柱穴	深さ	25cm～55cmで、西側は深い。								
	柱間寸法	桁行	— 2.74m(9尺0寸)、不明								
柱間寸法	梁間	— 2.06m(6尺8寸)、1.70m(5尺6寸)									
出土遺物	なし。										
小結	竪穴部の面積(7.8㎡)+掘立柱部の面積(11.5㎡)=約(19.2)㎡ 更に調査区域外に延びる可能性が高い。										
外周溝・80M	規模	長さ	15.4m	幅	43～50cm	断面図	箱形				
	規模	深さ	21～33cm	幅	14～27cm	傾斜	西→東				
	堆積土	12層に分層された。黒褐色を主体とし、ローム粒、焼土、粘土ブロックを混入する。 一部人為で大半は自然堆積と思われる。									
	出土遺物	堆積土	— 土師器壺10								
	小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。タイプ-南側はそのままの幅、北側は土坑が付随する。									
外周溝・81M	規模	長さ	13.1m	幅	50～52cm	断面図	U字形				
	規模	深さ	10～23cm	幅	18～40cm	傾斜	西→東				
	堆積土	5層に分層された。黒褐色を主体とし、ローム粒、砂、焼土を混入する。 一部人為で大半は自然堆積と思われる。									
	出土遺物	堆積土	— 土師器壺38、須恵器皿1、壺1								
	小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。80Mに遺棄したものとと思われる。									

土 坑 ・ 173	平面形	円形	壁	ゆるやかに立上がる	底面	ほぼ平坦である。
	規模	長軸 113cm	短軸	110cm	深さ	36cm
出土遺物	なし。					
土	小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。				



第V-1-47図 第15号建物跡(1)



0 2m

整穴部 (A-A', B-B')

- |     |      |         |                   |
|-----|------|---------|-------------------|
| 第1層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 粘土、L.B(大)、ローム粒微量。 |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | ローム粒少量、粘土微量。      |
| 第3層 | 黒褐色土 | 10YH2/2 | 焼土多量。             |
| 第4層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | ローム粒中量。           |
| 第5層 | 赤色土  | 10YR2/1 | ローム粒微量。           |
| 第6層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒微量。           |
| 第7層 | 赤色土  | 10YR2/1 | 粘土粒中量、ローム粒微量。     |
| 第8層 | 黒褐色土 | 10YH2/2 | ローム粒微量。           |
| 第9層 | 黒色土  | 10YR1/7 | ローム粒微量。           |

第9号 溝跡 (C-C')

- |     |      |         |                        |
|-----|------|---------|------------------------|
| 第1層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 細かいた砂多量、粘土粒、ローム粒微量。    |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YH2/2 | 細かいた砂少量、ローム粒微量。        |
| 第3層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒微量。(木の根のカタラシ)      |
| 第4層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | L.H(小)少量、細かいた砂、ローム粒微量。 |
| 第5層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒微量。                |
| 第6層 | 赤色土  | 10YR2/1 | ローム粒少量。                |
| 第7層 | 黒褐色土 | 10YH2/2 | L.B(大)多量、粘土粒微量。        |

第10号 溝跡 (C-C')

- |     |      |         |                   |
|-----|------|---------|-------------------|
| 第1層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | 粘土粒、細かいた砂、ローム粒微量。 |
| 第2層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | ローム粒微量。           |
| 第3層 | 赤色土  | 10YR2/1 | 粘土粒、細かいた砂、ローム粒微量。 |
| 第4層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | ローム粒中量、粘土粒微量。     |
| 第5層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒少量。           |

第10号 溝跡 (D-D')

- |      |      |         |                      |
|------|------|---------|----------------------|
| 第1層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | L.B(大)、ローム粒中量、粘土粒微量。 |
| 第2層  | 赤褐色土 | 10YH2/2 | ローム粒少量、粘土粒、炭化粒微量。    |
| 第3層  | 黒褐色土 | 10YR2/3 | 焼土、ローム粒微量。           |
| 第4層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 焼土、ローム粒微量。           |
| 第5層  | 赤色土  | 10YH2/1 | 焼土、ローム粒微量。           |
| 第6層  | 褐色土  | 10YR2/2 | 砂、ローム粒多量。            |
| 第7層  | 赤褐色土 | 10YR2/2 | 砂、ローム粒微量。            |
| 第8層  | 赤褐色土 | 10YH2/2 | L.H(大)ローム粒少量。        |
| 第9層  | 赤褐色土 | 10YR2/1 | ローム粒微量。              |
| 第10層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | L.B(大)、ローム粒中量。       |
| 第11層 | 赤色土  | 10YR1/7 | L.H(大)、ローム粒微量。       |
| 第12層 | 黒色土  | 10YR1/7 | 粘土粒多量。               |

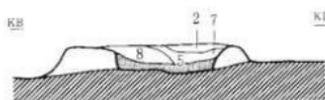
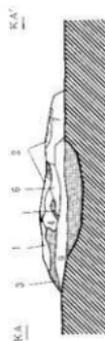
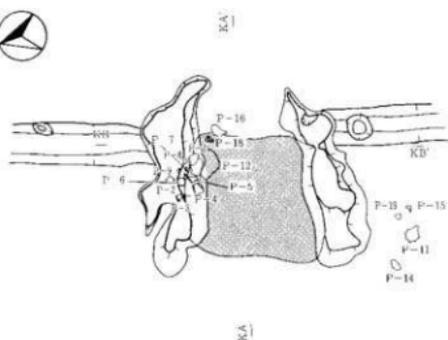
第10号 溝跡 (E-E')

- |     |      |         |                    |
|-----|------|---------|--------------------|
| 第1層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | 粘土粒、炭化物、ローム粒微量。    |
| 第2層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | ローム粒少量、粘土粒微量。      |
| 第3層 | 赤色土  | 10YR2/1 | 焼土粒、L.H(大)、ローム粒微量。 |
| 第4層 | 赤褐色土 | 10YR1/7 | 粘土粒、ローム粒微量。        |
| 第5層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒多量。            |
| 第6層 | 褐色土  | 10YH2/1 | ローム粒微量。            |
| 第7層 | 黒褐色土 | 10YR1/7 | ローム粒多量。            |
| 第8層 | 褐色土  | 10YH2/2 | ローム層。              |

第11号 溝跡 (E-E')

- |     |      |         |                   |
|-----|------|---------|-------------------|
| 第1層 | 赤褐色土 | 10YH2/2 | 焼土粒、ローム粒微量。       |
| 第2層 | 赤褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒少量、粘土粒、炭化粒微量。 |
| 第3層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | L.B(大)、ローム粒多量。    |

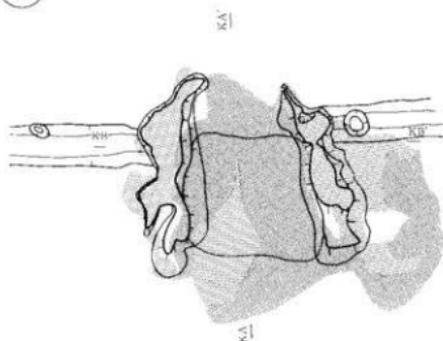
第V-1-48図 第15号建物跡(2)



0 1m

第15号 カマド

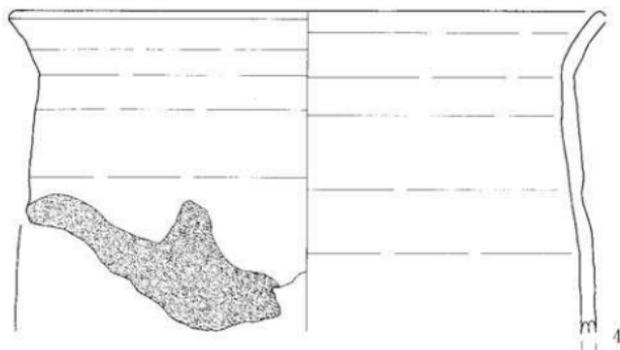
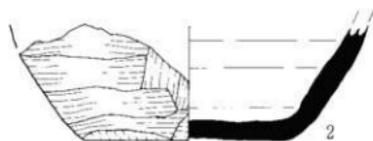
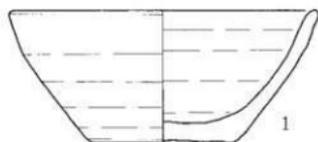
第1層	にぶい黄褐色土	10YR6/4	粘土少量。
第2層	灰黄褐色土	10Y7/4.2	粘土少量。
第3層	にぶい黄褐色土	10YR4/3	炭1層。
第4層	にぶい黄褐色土	10YR5/4	粘土少量。
第5層	にぶい棕色土	7.5YR6/4	炭1層。
第6層	暗褐色土	7.5YR3/4	炭土層。
第7層	暗褐色土	10YR3/3	炭土和少量。
第8層	暗褐色土	10YR3/4	炭土少量、粘土粒微量。
第9層	暗褐色土	10YR5/8	



カマド映出時状況

0 1m

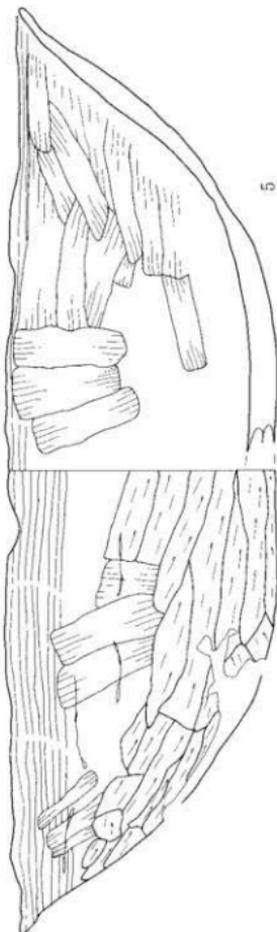
第V-1-49図 第15号建物跡(3)



0 10cm

遺物番号	種類	器種	出土位置	計測値 (m)		外面調整			内面調整			底面調整	分類	備考	写真番号		
				口径	高さ	口縁	底	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半					体部下半	
1	土師器	杯	アケ土	(12.4)	5.2	5.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	内外底磨耗
2	埴輪器	板瓦	床面			(4.6) (8.0)			へらナリ	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	給干分断一斗(五系川原)
3	土師器	杯	新M アケ土	(12.6)	5.4	5.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	磨耗
4	土師器	壺	新M アケ土	(23.9)	(12.8)		0.7	0.7		0.7	0.7						粘土、磨耗

第V-1-50図 第15号建物跡(4)



10cm  
0

遺物 記号	種類	西暦	出土位置	計測値 (cm)			外面調整				内面調整				底面調整	方位	備考	写真 番号
				口径	高さ	壁厚	口縁	胴体上半	胴体下半	口縁	胴体上半	胴体下半	底面調整					
5	土貯器	埴	8M アケ土	(27.0)	(10.2)		3コナデ	ヘラデ	砂底	壁托								
6	須恵器	埴	8M アケ土	(10.6)	2.0	2.0	11ク11	11ク11	11ク10	11ク10	11ク10	11ク10	11ク10	11ク10	漆喰的	照形、火アスナ葺		

第V-1-51図 第15号建物跡(5)

第16号建物跡 観察一覧表

位置	E～F-96～97	図版番号	第V-1-52～54図	写真図版番号	11-7、8、12-12
----	-----------	------	-------------	--------	--------------

重複関係	6M、9M>6H
------	----------

壁	法量	壁長 (m)	6.25	6.04	4.21	4.71
		壁高 (m)	—	—	—	—
		周溝幅 (m)	—	32	20	17.20
		周溝深さ (m)	—	13	25	(16)、(16)
	平面形	正方形	床面積	約(25.4)㎡	主軸方位	N-98°-E
	壁	検出されなかった。			床	ほぼ平出である。
	周壁	東西壁を除き一巡する。北壁は2つに分岐する。				
	ビット	16個検出された。 土柱穴は、P <sub>1</sub> ～P <sub>4</sub> 、壁柱穴はP <sub>5</sub> ～P <sub>15</sub> と思われる。				
	かまど	遺存状態	不良	位置	東壁の南寄りと思われる。	
	堆積土	内周溝堆積土のみ検出された。9層に分層され、黒褐色を主体とし、ローム粒を混入する。				
部	出土遺物	柱穴堆積土・鉄製品1				
	附属施設	掘立柱建物跡2、外周溝-76M、77M、82M、土坑-40土柱穴列2				
	小結	上部がかなり削平されている。外周溝が2箇所途切れる。				

掘立柱部1	規模	桁行2間(総長4.28m-南)×梁間2間(総長5.71m-東)	
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。	
	柱穴	径	28cm～61cmの楕円形の掘り方である。
		深さ	9cm～44cmで、東側が深い。
	柱間寸法	桁行—2.00m(6尺6寸)、2.28m(7尺5寸) 梁間—2.62m(8尺6寸)、3.09m(10尺1寸)	
	出土遺物	なし。	
小結	壁穴部の面積(25.4㎡)+掘立柱部の面積(14.0㎡)=約39.4㎡		

掘立柱部2	規模	桁行2間(総長4.74m-北)×梁間1間(総長3.26m-東)	
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。	
	柱穴	径	31cm～43cmの円形の掘り方である。
		深さ	10cm～49cmで、東側が深い。
	柱間寸法	桁行—2.22m(7尺3寸)、2.52m(8尺3寸) 梁間—3.26m(10尺7寸)	
	出土遺物	なし。	
小結	壁穴部の面積(25.4㎡)+掘立柱部の面積(15.5㎡)=約40.9㎡		

柱列1	規模	2間(総長3.82m)		
	平面形式	直線を呈する南北方向建物跡である。		
	柱穴	径	30cm～40cmの楕円形の掘り方である。	
		深さ	19cm、18cm、19cm	
	柱間寸法	1.82m(6尺0寸)、2.00m(6尺6寸)		
	出土遺物	なし。		
小結	掘立柱部の底か。			

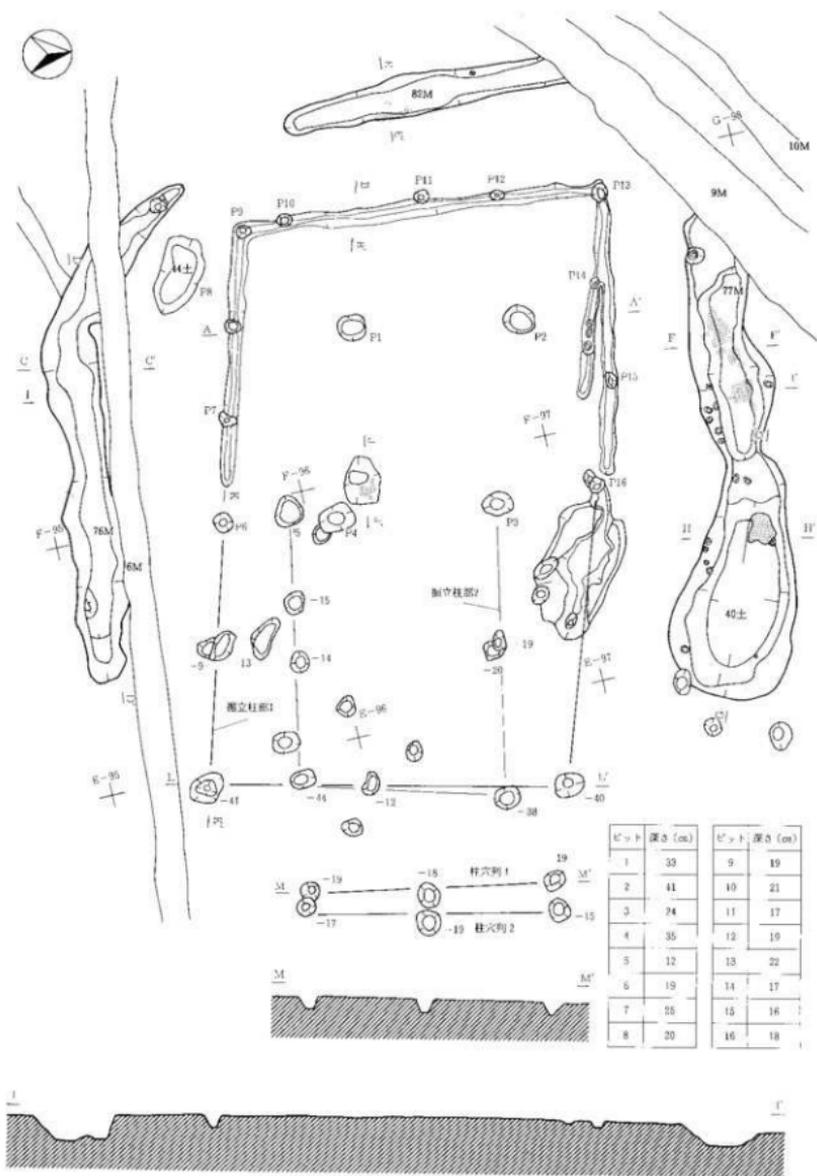
柱 穴 列 2	規 模	2間(総長4.02m)		
	平面形式	直線を呈する南北方向建物跡である。		
	柱 穴	径	29cm~43cmの楕円形の掘り方である。	
		深 さ	17cm、19cm、15cm	
	柱間寸法	1.94m(6尺4寸)、2.08m(7尺2寸)		
出土遺物	なし。			
小 結	掘立柱部の底か。			

外 周 溝 ・ 76 M	規 模	長 さ	8.6m	幅	88cm	断面形	U字形
		深 さ	40cm	幅	32cm	傾 斜	西→東
	堆 積 土	4層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、粘土、焼土を混入する。 自然堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土一土師器杯2、鏝17					
小 結	粘土・焼土の廃棄がみられる。						

外 周 溝 ・ 77 M	規 模	長 さ	(4.2)m	幅	84~121cm	断面形	U字形
		深 さ	28cm	幅	20~70cm	傾 斜	西→東
	堆 積 土	9層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、粘土、焼土を混入する。 人為堆積と思われる。掘り直しされた可能性がある。					
	出土遺物	なし。					
小 結	粘土・焼土の廃棄が見られる。 末端に土坑が付随する。						

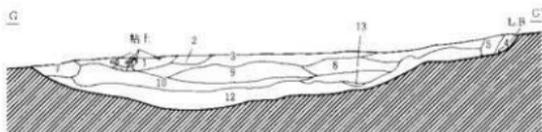
外 周 溝 ・ 82 M	規 模	長 さ	(4.5)m	幅	60cm	断面形	箱形
		深 さ	30cm	幅	33cm	傾 斜	北→南
	堆 積 土	5層に分層された。黒褐色土を主体とし、粘土、焼土を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土一土師器杯1、鏝20、須恵器1、壺4、鉄製品1(刀子) 堆積土(焼土・粘土中)一土師器鏝13					
小 結	埋土上位に焼土の廃棄がみられる。						

土 坑 ・ 40 土	平面形	楕円形	壁	ゆるやかに立上がる	底 面	丸底状	
	規 模	長 軸	378cm	短 軸	183cm	深 さ	40cm
	堆 積 土	13層に分層された。黒褐色土を主体とし、混入物は、焼土、炭化物、ロームの粒子および砂。 地点により自然堆積と人為堆積の両方が見られる。					
	出土遺物	堆積土一土師器25、須恵器1					
小 結	粘土・焼土の廃棄が見られる。破壊されたカマドの部材と思われる。						



第V-1-52図 第16号建物跡(1)





第17号 溝跡 (F-F')

- 第1層 赤褐色土 10YR2/3 粘土、炭化物、ローム粒微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR2/3 粘土粒 (小) 少量、炭化物微量。
- 第3層 黒褐色土 10YR2/2 粘土粒、ローム粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/3 粘土粒、炭化物、ローム粒微量。
- 第5層 紅褐色土 10YR3/4 焼けた粘土多量。
- 第6層 赤色土 10YR2/1 粘土粒、炭化物、ローム粒微量。
- 第7層 赤褐色土 10YR2/2 I.H.、ローム粒多量。
- 第8層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.、ローム粒多量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/2 L.B. (人) 多量。

第40号 土坑 (H-H')

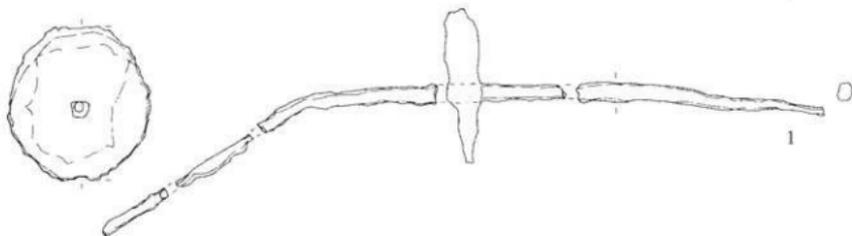
- 第1層 紅褐色土 7.5YR3/3 焼けた粘土の層、粘土、炭化物微量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2 焼けた粘土、粘土、炭化物微量。
- 第3層 灰青色土 10YR4/2 ローム層、粘土粒、砂、L.B.微量。

第40号 土坑 (G-G')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 粘土B少量、粘土、L.B.、ローム粒微量。
- 第2層 赤褐色土 10YR3/2 粘土、炭化物、ローム粒微量。
- 第3層 暗褐色土 10YR3/2 L.B.中層。
- 第4層 暗褐色土 10YR3/2 L.B.中層。
- 第5層 黒褐色土 10YR2/2 I.H.、ローム粒微量、石灰質人。
- 第6層 赤褐色土 10YR2/3 粘土粒、炭化物、砂、ローム粒微量、石灰質人。
- 第7層 黒褐色土 10YR2/2 粘土粒、炭化物、粘土粒、L.B.微量。
- 第8層 赤褐色土 10YR2/2 砂質土、粘土粒、炭化物、ローム粒微量。
- 第9層 赤色土 7.5YR2/1 砂質土、ローム粒微量。
- 第10層 黒褐色土 10YR2/3 粘土、炭化物、ローム粒微量。
- 第11層 赤色土 7.5YR2/1 粘土粒、炭化物、ローム粒微量。
- 第12層 赤色土 7.5YR2/1 粘土B、L.B.多量、粘土粒微量。
- 第13層 黒褐色土 10YR2/3 砂少量、粘土、L.B.微量。

第16号 土坑 (J-J')

- 第1層 赤色土 10YR2/1 粘土多量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2 粘土多量。
- 第3層 赤色土 10YR2/1 粘土粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒微量。



遺物番号	類別	時期	出土位置	径(m)	幅(m)	深(m)	厚(m)	備	考	掘り	整理
1	坑型品	縄文期	164 柱穴6	6	287.0	65.0	57.7	坑の底、粘層が厚みを帯びる。底層一部欠損	分析実施	△	06



第V-1-54図 第16号建物跡(3)

第17号建物跡 観察一覧表

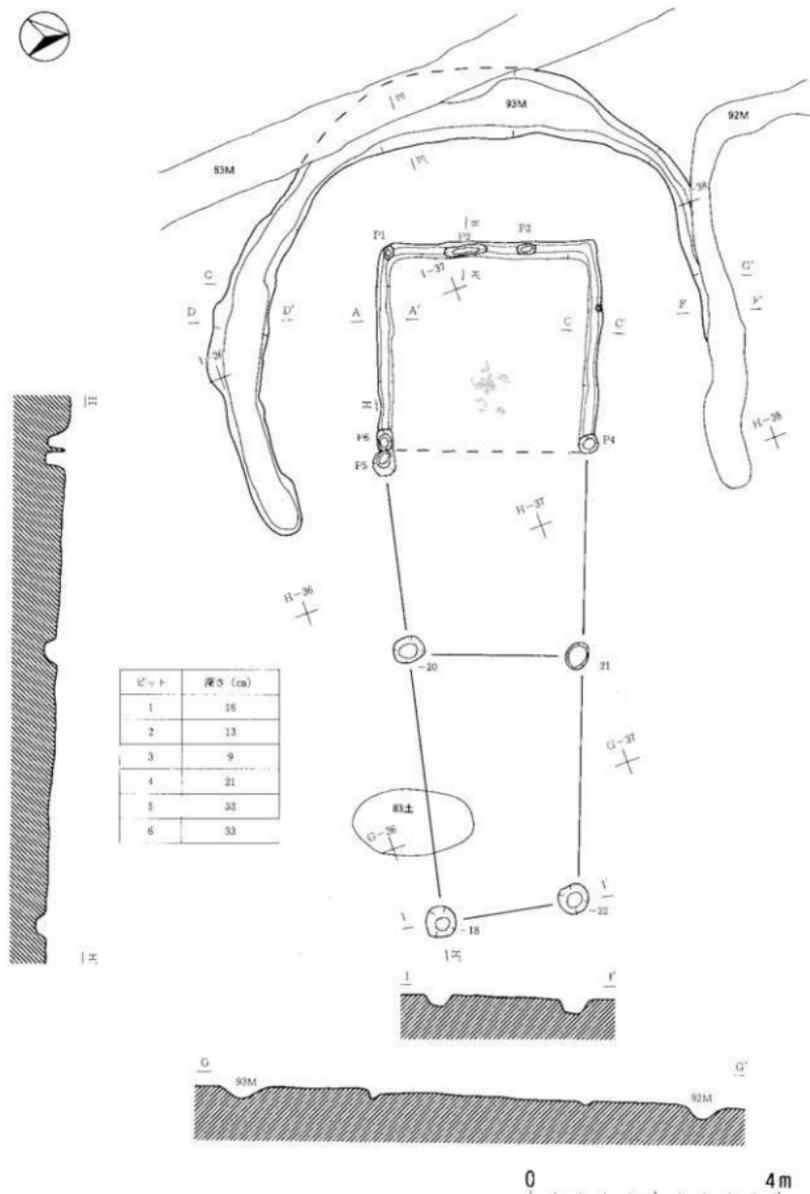
位置	H-I-36~37	図版番号	第V-1-55~56図	写真図版番号	12-3,4
----	-----------	------	-------------	--------	--------

重複関係	63H、92M>17H
	92Mは伴う可能性もあるが、断言できない。

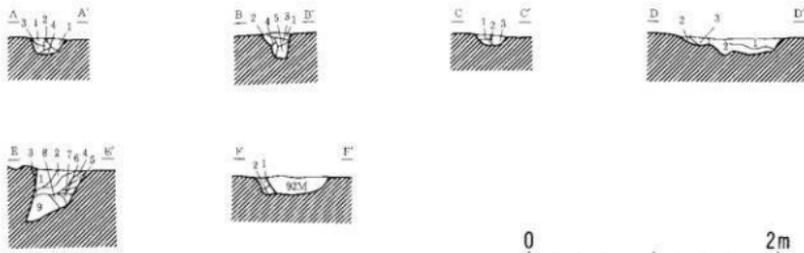
縦 穴 部	法 量	東 壁	3.50	西 壁	3.47	南 壁	3.32	北 壁	3.41	
		壁 長 ( m )	3.50	3.47	3.32	3.41				
		壁 高 ( m )	—	—	—	—	—	—	—	
		周溝幅 ( m )	—	—	24	28	—	—	25	
	周溝深さ ( m )	—	—	20	—	13	—	8		
	平面形	正方形	床面積	約9.7㎡	主軸方位	N-105°-E				
	壁	検出されなかった。							床	平坦である。
	周 壁	検出されなかった。								
	ピット	6個検出された。 主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>4</sub> と思われる。								
	かまど	遺存状態	不良	位置	東壁と思われる。					
堆積土	中央東寄り、わずかの焼土と粘土を検出した。 内周溝堆積土のみ検出された。5層に分層され、黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。人為堆積と思われる。									
出土遺物	なし。									
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-93M、土坑-なし									
小 結	上部がかなり削平されており、主柱穴しか検出できなかった。 他の建物跡と比べて、掘立柱部はかなり長い。 外周溝の出土遺物からは時期をしぼるには至らなかった。外周溝の形状(タイプ)からすると、本建物跡の時期は、10世紀前半代?と思われる。									

掘 立 柱 部 1	規 模	桁行2間(総長7.50m-南)×梁行1間(総長2.72m-東)						
	平面形式	不整な台形を呈する東西棟建物跡である。						
	柱 穴	径	44cm~50cmの円形の掘り方である。					
		深 さ	18cm~33cmである。					
	柱間寸法	桁行	3.12m(10尺2寸)、4.38m(14尺4寸)					
		梁行	3.18m(10尺5寸)、2.72m(8尺9寸)、2.18m(7尺2寸)					
	出土遺物	なし。						
小 結	竪穴部の面積(9.7㎡)+掘立柱部の面積(19.4㎡)=約29.1㎡(約18畳)							

外 周 溝 ・ 93 M	規 模	長 さ	18.4m	幅	30~108cm	断面形	箱形
		深 さ	13~40cm	幅	7~75cm	傾 斜	西→東
	堆積土	3層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積上-土師器平1、壺11					
	小 結	タイプ-南側は中央(西側)と同じ幅で、北側は末端がしだいにしぼ状に狭まる。最末端は不明である。					



第V-1-55図 第17号建物跡(1)



窟穴部 (A-A')

- |           |         |                  |
|-----------|---------|------------------|
| 第1層 栗色土   | 10YR2/1 | ○-△粒中量、粘土微量。     |
| 第2層 黒褐色土  | 10YR3/1 | ○-△粒少量、粘土、L.H微量。 |
| 第3層 黒褐色土  | 10YR2/2 | ○-△粒少量、粘土微量。     |
| 第4層 明黄褐色土 | 10YR7/6 |                  |

窟穴部 (B-B')

- |          |         |               |
|----------|---------|---------------|
| 第1層 栗褐色土 | 10YR3/2 | ○-△粒少量。       |
| 第2層 栗褐色土 | 10YR3/2 | ○-△粒中量。       |
| 第3層 栗褐色土 | 10YR2/2 | ○-△粒少量。       |
| 第4層 暗褐色土 | 10YR3/3 | ○-△粒中量。       |
| 第5層 栗褐色土 | 10YR2/2 | ○-△粒中量、L.H少量。 |

窟穴部 (C-C')

- |          |         |             |
|----------|---------|-------------|
| 第1層 栗色土  | 10YR2/1 | ○-△粒微量。     |
| 第2層 暗褐色土 | 10YR3/2 | 砂少量、○-△粒微量。 |
| 第3層 暗褐色土 | 10YR3/3 | ○-△粒多量。     |

第3号 溝跡 (D-D')

- |          |         |                    |
|----------|---------|--------------------|
| 第1層 栗色土  | 10YR2/1 | ○-△粒中量、L.H微量。      |
| 第2層 栗色土  | 10YR2/1 | L.H (大) 多量、○-△粒少量。 |
| 第3層 黒褐色土 | 10YR2/2 | ○-△粒少量、L.H微量。      |

第3号 溝跡 (E-E')

- |          |           |                    |
|----------|-----------|--------------------|
| 第1層 栗褐色土 | 10YR3/2   | ○-△粒中量。            |
| 第2層 栗褐色土 | 10YR3/2   | ○-△粒少量。            |
| 第3層 栗褐色土 | 10YR2/2   | ○-△粒中量。            |
| 第4層 栗褐色土 | 10YR2/2   | ○-△粒微量。            |
| 第5層 暗褐色土 | 10YR3/3   | ○-△粒多量、L.H微量。      |
| 第6層 栗褐色土 | 10YR3/1   | ○-△粒中量。            |
| 第7層 栗褐色土 | 10YR3/4   | ○-△粒少量、L.H (大) 微量。 |
| 第8層 栗褐色土 | 10YR2/2   | ○-△粒微量。            |
| 第9層 栗色土  | 10YR1.7/1 | ○-△粒中量、L.H少量。      |

17H (F-F')

- |          |         |                        |
|----------|---------|------------------------|
| 第1層 栗褐色土 | 10YR2/2 | ○-△粒少量。                |
| 第2層 栗褐色土 | 10YR2/2 | ○-△粒少量、L.H (大) (小) 微量。 |

第V-1-56図 第17号建物跡(2)

第18号建物跡 観察一覧表

位置	F~G-82~83	図版番号	第V-1-57~59図	写真図版番号	12-5~8,13-1~4
----	-----------	------	-------------	--------	---------------

重複関係 4Hとの新旧関係は不明である。

壁	法量	壁 長 (m)	3.66	3.75	3.13	3.20	
		壁 高 (m)	—	—	—	—	
		周溝幅 (m)	18	16	28	18	
		周溝深さ (m)	15	21	21	18	
	平面形	長方形	床面積	約9.0㎡	土軸方位	N-121°-E	
穴	壁	検出されなかった。				床	平出である。
	周壁	全壁を一巡する。					
	ピット	15個検出された。 主柱穴は、P <sub>1</sub> 、P <sub>2</sub> 、P <sub>3</sub> 、P <sub>4</sub> 、P <sub>5</sub> 、P <sub>7</sub> 、P <sub>8</sub> 、P <sub>9</sub> 、P <sub>10</sub> と思われる。					
	かまど	遺存状態	不良	位置	東壁の南寄り		
	部	堆積土	火床面のみ検出された。 煙道部方向底面に線が1点出した。 6層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土を混入する。 人為堆積と思われる。				
出土遺物		床面-土師器壺1 かまど袖部床面-土師器杯1 かまど堆積土-土師器1					
附属施設		掘立柱建物跡1、外周溝-84M、土坑-53土、54土、55土					
小結							

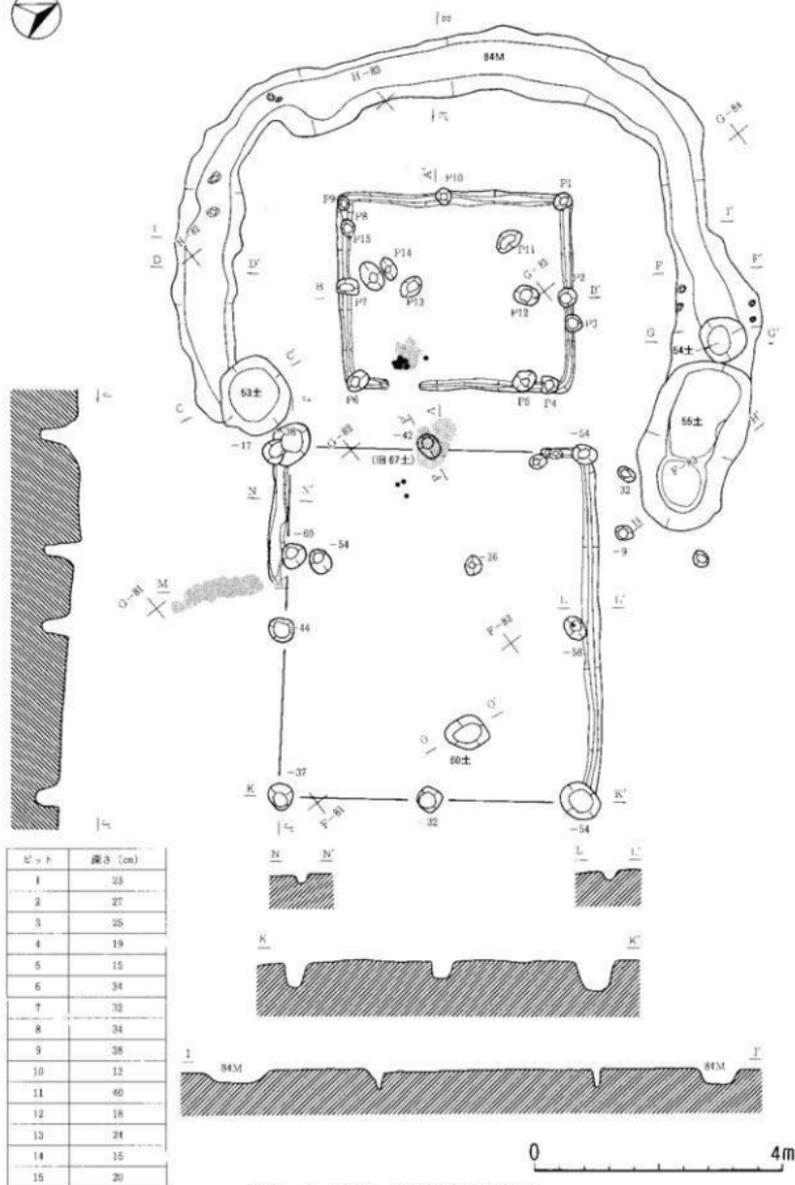
掘立柱部	規模	桁行2間(総長5.72m-南)×梁間2間(総長4.68m-西)				
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。				
	柱穴	径	39cm~73cmの円形の掘り方である。			
		深さ	32cm~58cmで、掘り込みが深い。			
	柱間寸法	桁行	2.98m(9尺8寸)、2.74m(9尺0寸)			
	梁間	2.16m(7尺1寸)、2.52m(8尺3寸)				
出土遺物	柱穴堆積土-土師器壺1					
小結	壁穴部の面積(9.0㎡)+掘立柱部の面積(26.7㎡)=約35.7㎡ 北、南、西に壁溝が検出された。(幅20~30cm、深さ6cm)					

外周溝・84M	規模	長さ	18.7m	幅	88~96cm	断面形	箱形
		深さ	12~31cm	幅	40~60cm	傾斜	西→東
	堆積土	6層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土を混入する。 大半が自然堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土-土師器杯2、壺20、球状土製品1					
	小結	粘土、焼土の塊がみられる。 南側、北側両端に土坑が付随する。					

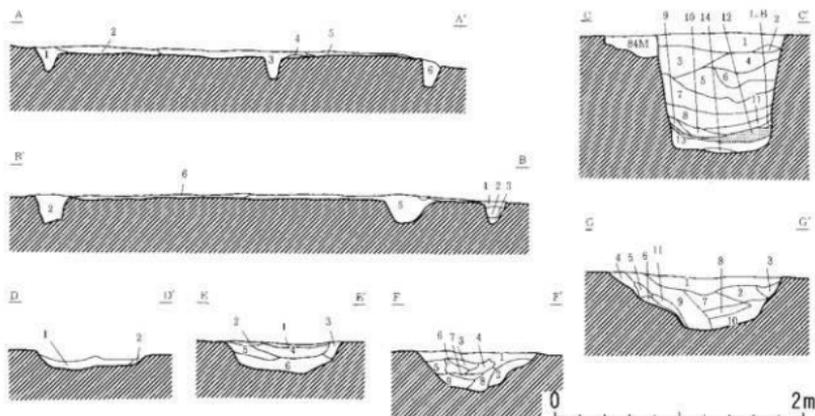
土坑・53土	平面形	円形		壁	直線的に外反する		底面	平出
	規模	長軸	128cm	短軸	118cm	深さ	96cm	
	堆積土	14層に分層された。黒褐色土を主体とし、焼土粒、ローム粒を混入する。 7層より上層は人為堆積と思われる。						
	出土遺物	堆積土-土師器14、須恵器1						
	小結	井戸跡の可能性もある。84Mがやや埋まった時点での構築と考えられる。						

土坑・54土	平面形	円形		壁	ゆるやかに立上る		底面	平坦である。	
	規模	長軸	72cm	短軸	72cm	深さ	26cm		
	堆積土	11層に分層された。黒色土を主体とし、焼土、ローム粒を混入する。人為堆積と思われる。							
	出土遺物	土師器10							
小結									

土坑・55土	平面形	楕円形(底面はだるま形)		壁	ゆるやかに立上る		底面	丸底状	
	規模	長軸	275cm	短軸	148cm	深さ	48cm		
	堆積土	11層に分層された。黒褐色土を主体とし、焼土、ローム粒を混入する。人為堆積と思われる。							
	出土遺物	堆積土一土師器46、須恵器4 ※須恵器は、胎土分析の結果、五所川原産と推定された。							
小結									



第V-1-57図 第18号建物跡(1)



竪穴部 (A-A')

- 第1層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒少量。
- 第2層 暗褐色土 10YH3/3 焼土、ローム粒中量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/1 焼土少量、ローム粒微量。
- 第5層 赤褐色土 10YH2/2 L.R.、ローム粒少量。
- 第6層 赤土 10YR2/1 ローム粒少量。

竪穴部 (B-B')

- 第1層 赤褐色土 10YH2/2 ローム粒少量、焼土微量。
- 第2層 赤土 10YR2/1 ローム粒中量、焼土微量。
- 第3層 赤土 10YH2/1 焼土、L.R.、ローム粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒微量。
- 第5層 赤褐色土 10YR2/2 L.B.、L.D少量、ローム粒微量。
- 第6層 赤土 10YR2/1

第53号 土坑 (C-C')

- 第1層 赤褐色土 10YH2/3 焼土粒、ローム粒微量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/2 焼土粒、ローム粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YH2/2 焼土粒、ローム粒微量。
- 第5層 赤土 10YR2/1 焼土粒、L.B (人) 微量。
- 第6層 赤土 10YR2/1 ローム粒微量。
- 第7層 赤土 10YR2/1 ローム粒微量。
- 第8層 赤褐色土 10YR2/1 ローム粒 (人) 少量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、L.B微量。
- 第10層 赤褐色土 10YH2/2 ローム粒微量。
- 第11層 赤土 10YR2/1 ローム粒微量。
- 第12層 暗褐色土 10YH4/6 粘土層。
- 第13層 赤土 10YR1/7
- 第14層 暗褐色土 10YH3/4 砂質土。

第54号 溝跡 (D-D')

- 第1層 赤土 10YR2/1 焼土少量、L.R.、ローム粒少量。
- 第2層 暗褐色土 10YR3/3 焼土、ローム粒微量。



カマド

- 第1層 暗褐色土 7.5YH5/8 大井形焼土の残片。
- 第2層 赤褐色土 7.5YR3/2 焼土 (φ1~2cm) 微層混入。
- 第3層 明赤褐色土 5YR5/8 穴床。

第54号 溝跡 (E-E')

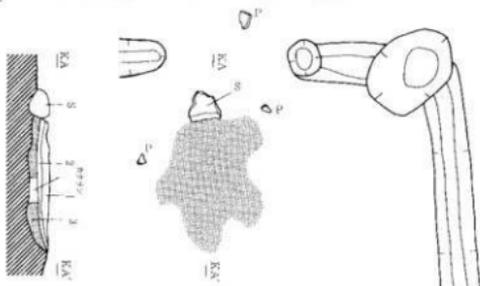
- 第1層 赤褐色土 10YH2/2 ローム粒少量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2 L.B多量。
- 第3層 赤土 10YH2/1 ローム粒少量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒中量、焼土少量、L.B微量。
- 第5層 赤土 10YH2/1 L.R.、ローム粒少量、焼土微量。
- 第6層 赤土 10YR2/1 L.B多量、ローム粒中量、焼土、粘土少量。

第54号 溝跡 (F-F')

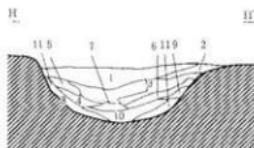
- 第1層 赤土 10YR2/1 ローム粒少量。
- 第2層 赤土 10YH1/7 L.D少量、ローム粒微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/2 L.B.、ローム粒少量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒中量。
- 第5層 赤土 10YH2/1 ローム粒少量、焼土微量。
- 第6層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、焼土。
- 第7層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒微量。
- 第8層 赤褐色土 10YH3/2 炭化物微量、ローム粒少量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/2 L.B.、ローム粒少量。

第54号 土坑 (G-G')

- 第1層 赤褐色土 10YH2/2 焼土、ローム粒少量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/3 ローム粒中量、L.B少量、焼土微量。
- 第3層 赤土 10YH2/1 ローム粒微量。
- 第4層 赤土 10YR2/1 L.D.、ローム粒少量。
- 第5層 赤土 10YR2/1 ローム粒少量。
- 第6層 切妻褐色土 10YH6/6 L.B多量。
- 第7層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、焼土、L.B微量。
- 第8層 赤褐色土 10YR2/2 L.B.、ローム粒少量。
- 第9層 赤土 10YH2/1 焼土、ローム粒少量。
- 第10層 赤土 10YR1/7 ローム粒少量、焼土微量。
- 第11層 赤土 10YR2/1 L.B中量、ローム粒少量。



第V-1-58図 第18号建物跡 (2)

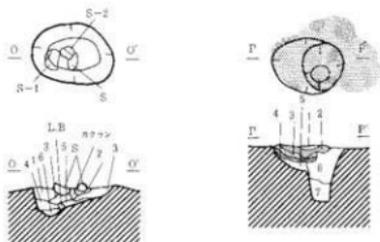


整穴部 (M-M')

- 第1層 黒粘土 10YR2/1 粘土中層、L.B(小)少量。
- 第2層 黒粘土 10YR2/4 粘土、ローム粒少量、L.B(大)微量。
- 第3層 赤色土 10YR2/1 ローム粒中層、粘土粒少量。
- 第4層 赤褐色土 10YR3/2 L.B多量、粘土、粘土B微量。
- 第5層 黒色土 10YR1/1 粘土粒微量。
- 第6層 赤褐色土 10YR3/1 L.B多量。
- 第7層 赤色土 10YR1/1 ローム粒少量。
- 第8層 赤色土 10YR2/1 ローム粒中層。

第55号 土坑 (H-H')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒中層、L.B少量、粘土微量。
- 第2層 赤色土 10YR2/1 ローム粒微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR3/2 L.B少量、ローム粒少量、粘土微量。
- 第4層 赤色土 10YR2/1 ローム粒少量、粘土微量。
- 第5層 赤色土 10YR2/1 粘土B、ローム粒少量、粘土、炭化物微量。
- 第6層 赤色土 10YR2/1 L.B少量、ローム粒微量。
- 第7層 赤色土 10YR2/1 粘土、ローム粒少量。
- 第8層 赤褐色土 10YR3/2 L.B少量、粘土少量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/2 ローム粒中層。
- 第10層 赤色土 10YR2/1 粘土、ローム粒微量。
- 第11層 赤褐色土 10YR3/2 粘土、L.B、ローム粒少量。

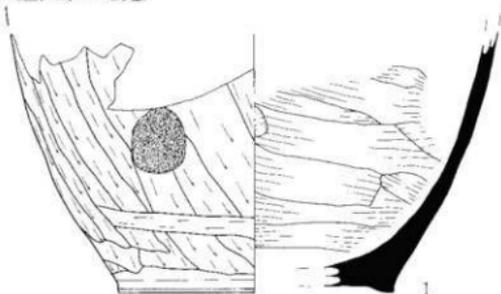


第60号 土坑

- 第1層 赤色土 10YR1/1.1 ローム粒微量。
- 第2層 赤色土 10YR2/1 ローム粒微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR3/2 ローム粒中層。
- 第4層 赤色土 10YR2/1 ローム粒少量。
- 第5層 赤褐色土 10YR3/2 ローム粒中層、L.B(小)微量。
- 第6層 赤褐色土 10YR3/3 ローム粒中層、黄褐色少量。

第67号 土坑

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 粘土、ローム粒(小)少量。
- 第2層 赤褐色土 10YR7/8 粘土微量。
- 第3層 灰白色土 10YR8/2 粘土層。
- 第4層 灰白色土 10YR7/4 粘土層。
- 第5層 暗褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、L.B微量。
- 第6層 暗褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、L.B微量。
- 第7層 赤色土 10YR2/1 粘土B(大)中層、L.B(大)微量。



遺物 番号	種類	出上位置	計測値 (cm)		外形調整			内面調整		底面調整	分類	備考	写真 番号
			口径	高さ	口径	口径	口径	口径	口径				
1	透形袋 (灰筒)	SA上 アウ土	10.3	(11.0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○



遺物 番号	種別	種類	出土位置	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	特徴	備考	底面	整理
2	土製品	磁器類	SH 200M 溝底	11.5	10.0	16.5	1.0	球状 表面の刺落著しい			05

第V-1-59図 第18号建物跡 (3)

第19号建物跡 観察一覧表

位置	F~G-72~74	図版番号	第V-1-60~64図	写真図版番号	13-5~8,14-1,2
----	-----------	------	-------------	--------	---------------

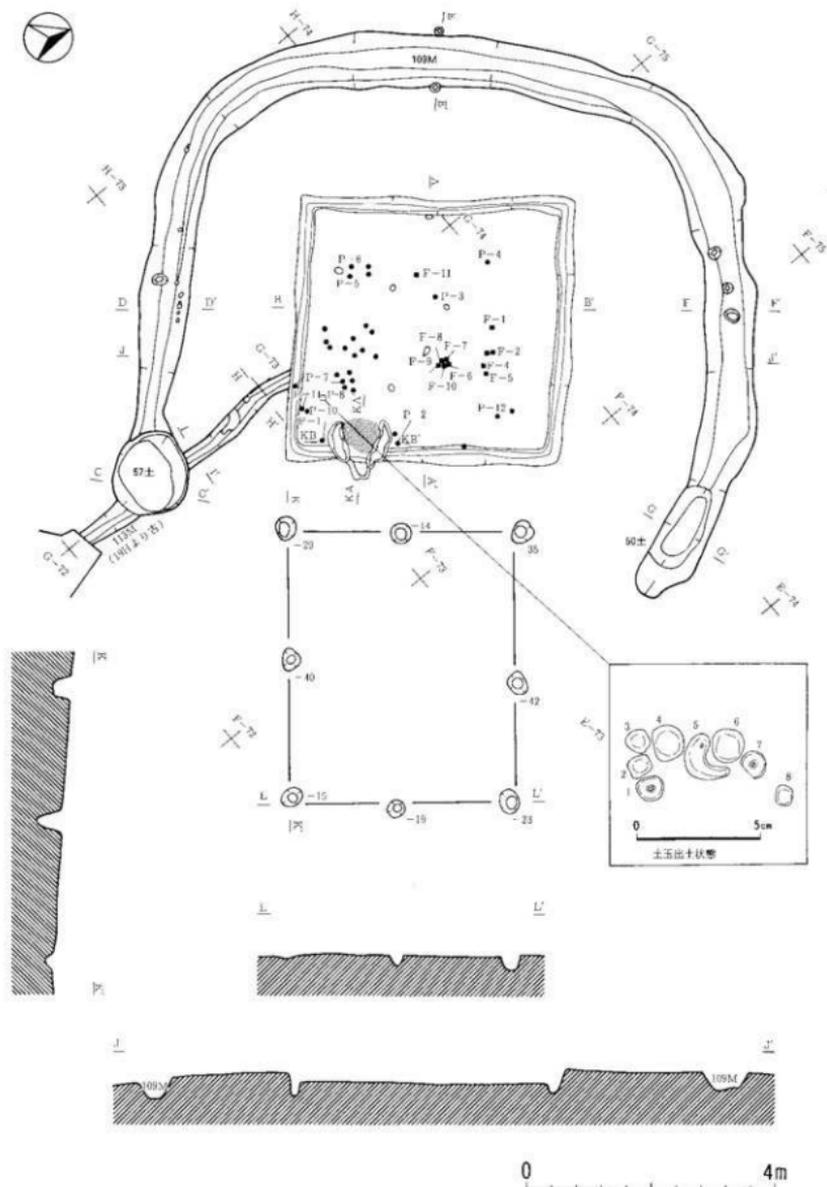
重複関係	19H>113M
------	----------

部	法 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁	
		壁 長 ( m )	4.40	4.36	4.22	4.33
		壁 高 ( m )	35	66	48	52
		周溝幅 ( m )	16	15	15	18
		周溝深さ ( m )	19	17	20	18
	平面形	正方形	床面積	約14.9㎡	土軸方位	N-128°-E
		壁	直線的に外反する。			床
	周 壁	かまど直下を除き一巡する。				
	ピ ッ ト	全く検出されなかった。				
		主柱穴は、不明である。				
かまど	遺存状態	良好	位置	東壁の南寄り		
堆 積 土	カマドの焚口付近の底面に土玉が連状に出た。24~26層は床下土の層である。					
	36層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、炭化物を混入する。全層人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土—土師器環1、甕5、須恵器壺1				
		床面—土師器環1、甕7、土製品(上玉1連)、鉄片11				
	貼床面—土師器甕1				貼床下—土師器環1、甕3	
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝—109M、土坑—50土、57土					
小 結	本遺跡の中では最も遺存状態の良い居住跡である。					

掘 立 柱 部	規 模	桁行2間(総長4.32m-南)×梁間2間(総長3.79m-西)			
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。			
	柱 穴	径	29cm~38cmの円形の掘り方である。		
		深 さ	14cm~40cm。		
	柱間寸法	桁行	—2.08m(6尺8寸)、2.24m(7尺3寸)		
		梁間	—1.85m(6尺1寸)、1.94m(6尺4寸)		
出土遺物	なし。				
小 結	竪穴部の面積(14.9㎡)4掘立柱部の面積(16.4㎡)≈約31.3㎡				

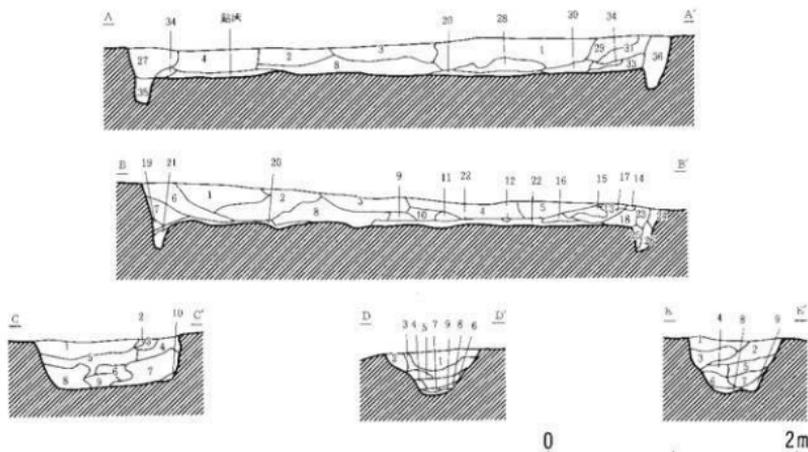
外 周 溝 ・ 溝 M	規 模	長 さ	22.3m	幅	76~82cm	断面形	箱形
		深 さ	19~43cm	幅	23~34cm	傾 斜	西・東
	堆 積 土	9層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、炭化物を混入物とする。人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土—土師器環2、甕30、須恵器環1、甕1、大甕11					
小 結	両末端に2つの土坑が付随する。土坑の掘り込みは深い。6基のピットを伴う。						

土 坑 ・ 50土	平面形	楕円形		壁	直線的に外反する。		底 面	平坦である。
	規 模	長 軸	197cm	短 軸	77cm	深 さ	54cm	
		堆 積 土	11層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、炭化物を混入する。人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土—須恵器1						
	小 結	掘り込みが深い。						



第V-1-60图 第19号建物跡(1)

土坑・57土	平面形	円形	壁	直線的に外反する。	底面	ほぼ平坦である。
	規模	長軸 136cm	短軸	117cm	深さ	37cm
	堆積土	10層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、粘土を混入する。人為堆積と思われる。				
小結	掘り込みが深い。出土遺物なし。					



第19号 型穴跡 (A-A', B-B')

第1層	赤褐色土	10YR2/3	B(小)中層、ローム粒少量、粘土微量。
第2層	赤褐色土	10YR2/2	B(小)中層、(大)少量。
第3層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量。
第4層	赤褐色土	10YH1.7/1	炭化物、ローム粒少量。
第5層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭土、炭化粒微量。
第6層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、炭土、粘土(大)微量。
第7層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土少量。
第8層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、粘土少量、L,H(大)微量。
第9層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土、炭化粒微量。
第10層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、粘土微量。
第11層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、炭土、炭化物微量。
第12層	褐色土	10YR4/4	ローム層、炭土微量。
第13層	暗褐色土	10YR3/2	ローム粒中層、炭化物少量、粘土微量。
第14層	褐色土	10YR4/6	ローム層、炭土微量。
第15層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、炭化物少量、粘土微量。
第16層	赤褐色土	10YR4/2	ローム粒中層、炭化粒少量、粘土微量。
第17層	褐色土	10YR4/6	ローム粒中層、粘土、炭化粒、粘土(大)微量。
第18層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、炭化粒少量、粘土微量。
第19層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、粘土微量。
第20層	赤褐色土	10YR1.7/1	炭化物(小)少量、ローム粒少量、粘土微量。
第21層	暗褐色土	10YR2/4	ローム粒中層、粘土(大)微量。
第22層	赤褐色土	10YR2/2	炭化物(大)、ローム粒中層、粘土微量。
第23層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭化物少量。
第24層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、粘土1層量。
第25層	赤褐色土	10YR4/3	粘土中層、ローム粒少量、粘土微量。
第26層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土、粘土(大)微量。
第27層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭土、ローム粒少量、粘土(大)微量。
第28層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭土、炭化物少量。
第29層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭土、粘土(大)微量。
第30層	暗褐色土	10YR3/3	L,B(大)、ローム粒中層、炭化粒微量。

第19号 溝跡 (D-D')

第1層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、L,B(大)中層、粘土微量。
第2層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、炭土、炭化物微量。
第3層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、炭土、炭化物、L,H(大)微量。
第4層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、炭化物、L,H(大)微量。
第5層	赤褐色土	10YR2/3	砂中層、ローム粒少量、粘土微量。
第6層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒少量、粘土、炭化物微量。
第7層	赤褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、L,H(大)微量。
第8層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、粘土微量。
第9層	粘土	10YR4/4	ローム粒中層、粘土中層。

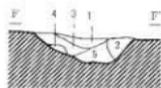
第19号 土坑 (C-C')

第1層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒少量、粘土微量。
第2層	赤褐色土	10YR2/2	砂中層、ローム粒少量。
第3層	赤褐色土	10YR1.7/1	砂、ローム粒中層、炭化物微量。
第4層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土少量。
第5層	赤褐色土	10YR2/2	粘土中層、粘土少量。
第6層	赤褐色土	10YR2/2	粘土中層、砂、ローム粒少量。
第7層	褐色土	10YR4/4	粘土中層、ローム粒少量。
第8層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、L,H(大)微量。
第9層	赤褐色土	10YR3/4	粘土、ローム粒中層。

第19号 溝跡 (E-E')

第1層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層。
第2層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、粘土、粘土(大)微量。
第3層	暗褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、粘土微量。
第4層	暗褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土、炭化粒微量。
第5層	赤褐色土	10YR2/2	ローム粒中層、粘土、炭化物少量。
第6層	赤褐色土	10YR1.7/1	粘土、ローム粒微量。
第7層	赤褐色土	10YR2/2	L,H、ローム粒(少量)、粘土微量。
第8層	褐色土	10YR4/4	ローム粒中層、粘土、粘土(大)微量。
第9層	暗褐色土	10YR2/3	ローム粒中層、粘土、粘土(大)、L,D(大)微量。

第V-1-61図 第19号建物跡(2)

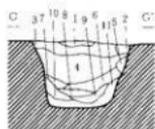


第109号 溝跡 (F-F')

- 第1層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒多量、粘土少量、炭化物微量。  
 第2層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量。  
 第3層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土、粘土(L、R)少量。  
 第4層 褐色土 10YR4/4  $\alpha$ - $\beta$ 粒多量、粘土少量。  
 第5層 同上(逆): 10YR2/2 粘土。

第50号 土坑 (G-G')

- 第1層 黑褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\beta$ 粒中量、炭化物少量。  
 第2層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土少量。  
 第3層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒中量、粘土、炭化物少量。  
 第4層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒多量、炭化物少量、粘土少量。  
 第5層 黑褐色土 10YR2/4  $\alpha$ - $\beta$ 粒多量、粘土少量。  
 第6層 黑褐色土 10YR2/1 炭化物少量、粘土、炭化物少量。  
 第7層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土、炭化物少量。  
 第8層 黑褐色土 10YR1/1 炭化物少量、粘土、炭化物少量、粘土少量。  
 第9層 黑褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土、炭化物少量。  
 第10層 黑褐色土 10YR3/1  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土少量。  
 第11層 褐色土 10YR4/4 砂質土、 $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土中量。



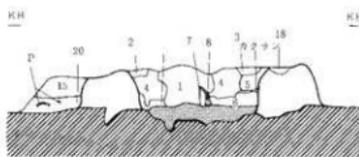
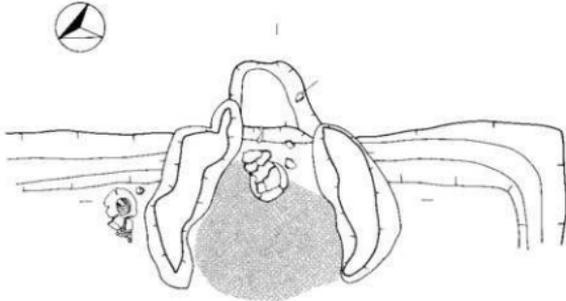
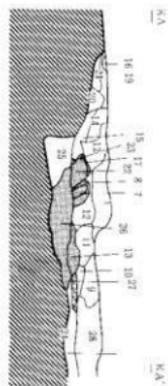
第112号 溝跡 (H-H')

- 第1層 黑褐色土 10YR2/1 L、B(A)、 $\alpha$ - $\beta$ 粒微量。  
 第2層 同上



第113号 溝跡 (I-I')

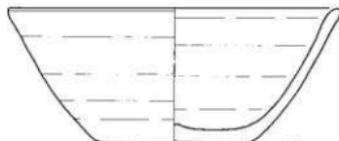
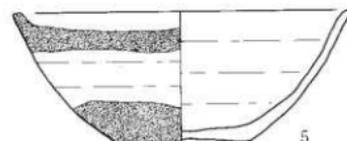
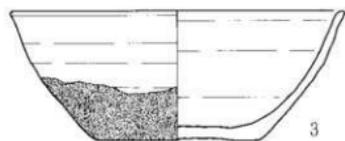
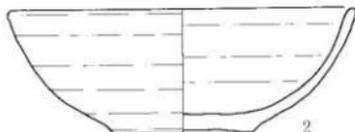
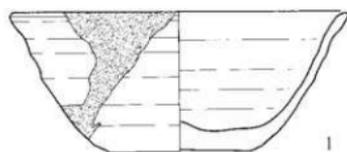
- 第1層 褐色土 10YR3/1  $\alpha$ - $\beta$ 粒中量、L、B(A)少量。



第19号 墓穴部 (KA-KA', KB-KB')

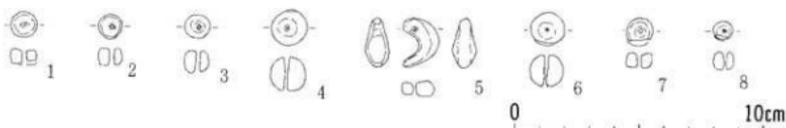
- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 L、B(中)少量、粘土(小)、炭化物少量。  
 第2層 褐色土 7.5YR4/4  $\alpha$ - $\beta$ 中、炭化物。  
 第3層 暗褐色土 10YR3/3 粘土、炭化物。  
 第4層 褐色土 7.5YR4/4 灰付粘土層、灰少量。  
 第5層 褐色土 7.5YR4/4 灰付粘土層、灰少量。  
 第6層 暗褐色土 7.5YR3/4 粘土、 $\alpha$ - $\beta$ 粒、炭化物少量。  
 第7層 暗褐色土 7.5YR2/3 砂質粘土少量、粘土、炭化物。  
 第8層 暗褐色土 5YR4/6 灰少量、L、R(小)少量。  
 第9層 暗褐色土 10YR3/3 砂質粘土層、炭化物。  
 第10層 L、B(中)少量 10YR4/3 砂質粘土層、炭化物少量。  
 第11層 L、B(中)少量 10YR4/3 砂質粘土層、炭中量、炭化物少量。  
 第12層 L、B(中)少量 10YR4/3 砂質粘土層、炭化粒、炭、L、B(小)少量。  
 第13層 赤褐色土 5YR4/6 粘土層、人骨埋藏處。

- 第14層 暗褐色土 10YR3/4 砂質粘土多量、粘土、炭化粒、炭化物。  
 第15層 暗褐色土 10YR2/2 粘土(小)、炭化物(小)、L、R(小)、砂質粘土層。  
 第16層 暗褐色土 10YR2/2 粘土(小)、 $\alpha$ - $\beta$ 粒微量。  
 第17層 褐色土 7.5YR4/4 粘土(小)少量、炭化粒、炭化物。  
 第18層 暗褐色土 10YR3/3 砂質粘土、灰少量、 $\alpha$ - $\beta$ 粒微量。  
 第19層 暗褐色土 10YR2/2 灰付粘土(小)層、粘土少量、 $\alpha$ - $\beta$ 粒微量。  
 第20層 暗褐色土 10YR3/3  $\alpha$ - $\beta$ 粒中量、粘土少量、炭化物、砂質粘土(小)少量。  
 第21層 暗褐色土 10YR2/3  $\alpha$ - $\beta$ 粒少量、粘土粒、炭化物少量。  
 第22層 赤褐色土 5YR4/6 暗褐色粒少量。  
 第23層 暗褐色土 5YR3/3 赤褐色土層。  
 第24層 暗褐色土 10YR3/3 粘土、粘土(中)多量、粘土、炭化粒少量。  
 第25層 暗褐色土 10YR1/1 粘土(中)多量、粘土少量、炭化粒少量。  
 第26層 赤褐色土 5YR4/6 炭化粒少量。  
 第27層 L、B(中)少量 10YR1/1 褐色土、炭化物(中)層(住居の20層)。  
 第28層 褐色土 10YR2/2 暗褐色土(住居の9層)。



遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)			外面測値			内面測値			底面調整 分級	備 考	写真 番号	
				口径	高さ	底径	口縁部	体部上	体部下	口縁部	体部上	体部下				
1	土師器	杯	アケ上	13.6	5.6	5.6	11.2 11	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	10.7 10	回転未切り	スス	
2	土師器	杯	カマド内 連筋	14.0	5.0	5.6	11.2 11	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	10.7 10	回転未切り	二次焼成、支脚?	
3	土師器	杯	カマド 結成面	13.4	5.2	6.5	10.7 10	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	10.7 10	回転未切り	二次焼成、磨耗	
4	土師器	杯	カマド内 底面	14.0	5.0	4.9	11.2 10	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	10.7 10	回転未切り	二次焼成、ハケリ	
5	土師器	杯	貼付面	13.5	4.9	5.2	11.2 11	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	10.7 10	回転未切り	二次焼成、支脚?、ハケリ、磨耗	
6	土師器	杯	貼付面	13.3	5.4	5.8	10.7 10	11.2 10	10.7 10	10.7 10	11.2 11	10.7 10	10.7 10	回転未切り		
7	土師器	ハナフ ツカ上	アケ上	5.4	4.9	5.0	4.7 4.7	4.7 4.7	4.7 4.7	4.7 4.7	4.7 4.7	4.7 4.7	4.7 4.7	ヘナフ ヘナフ	ヘナフ	

第V-1-63図 第19号建物跡(4)



遺物 番号	種別	産地	出土位置	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)	特 徴	備 考	焼成 色	整理 記号
1	土製品	江戸時代	1911 床面	10.5	10.5	6.0	1.0	黒色の焼成 焼成前穿孔か 1方キ			16-1
2	土製品	江戸時代	1911 床面	9.5	9.5	7.0	0.8	黒色の焼成 焼成前穿孔か 1方キ			16-2
3	土製品	江戸時代	1911 床面	9.5	10.0	9.0	0.6	黒色の焼成 表面磨減 焼成前穿孔か 1方キ残存			16-3
4	土製品	江戸時代	1911 床面	13.5	9.0	13.5	2.4	黒色の焼成 片面平土状 焼成前穿孔か 1方キ			16-4
5	土製品	江戸時代	1911 床面	20.9	14.5	6.0	1.6	黒色の焼成 焼成前穿孔 1方キ			16-5
6	土製品	江戸時代	1911 床面	(12.0)	18.5	13.0	1.7	黒色の焼成 焼成前穿孔 1方キ			16-6
7	土製品	江戸時代	1911 床面	(9.0)	10.5	6.0	0.8	黒色の焼成 焼成前穿孔 1方キ			16-7
8	土製品	江戸時代	1911 床面	(7.0)	7.0	7.0	0.4	黒色の焼成 部分欠損 焼成前穿孔か 一部1方キ			16-8

第V-1-64図 第19号建物跡(5)

第20号建物跡 観察一覧表

位置	G~H-29~30	図版番号	第V-1-65~66図	写真図版番号	14-3、4、16-5
----	-----------	------	-------------	--------	-------------

重複関係	95.96.98.99. 104. 146M>20H
------	----------------------------

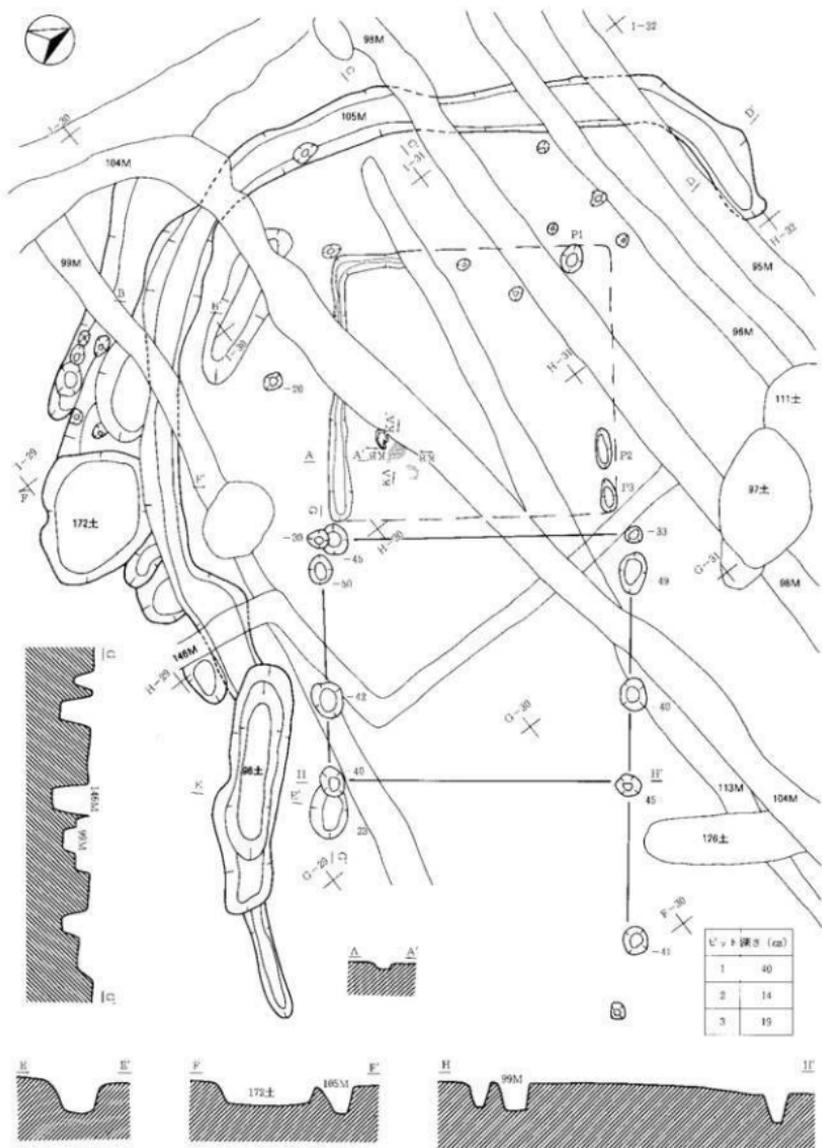
堅	法量	柱間寸法 (m)	東壁	西壁	南壁	北壁
		壁高 (m)	(4.57)	(4.42)	4.22	(4.26)
		周溝幅 (m)	—	21	25	—
		周溝深さ (m)	—	8	10	—
平面形	正方形	床面積	約 (19.3) m <sup>2</sup>		主軸方位	N-125°-E
	壁	検出されなかった。			床	平坦である。
穴	周壁	検出されなかった。				
	ピット	3個検出された。 主柱穴は、不明である。				
	かまど	遺存状態	不良	位置	東壁の南寄りと思われる。 焼土及び袖を構築したと思われる粘土の部分を検出した。	
部	堆積上	検出されなかった。				
	出土遺物	焼土中—土師器壺2				
	付属施設	かまど袖 (粘土) 中—土師器坏1、壺6 掘立柱建物跡1、外周溝—105M、土坑—96土、172土 105Mは、172土をつくり替えたものと思われる。				
	小結	かなり削平され、かつ各溝跡に切られているために、遺存状態は非常に悪い。 外周溝の出土遺物から、本建物跡の時期は、10世紀前半と思われる。				

掘立柱部1	規模	桁行3間 (総長6.42m—北) × 梁行1間 (総長4.78m—西)			
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。			
	柱穴	径	35cm~87cmの楕円形の掘り方である。		
		深さ	23cm~50cmである。		
	柱間寸法	桁行—2.53m (8尺3寸)、1.44m (4尺7寸)、2.45m (8尺1寸) 梁行—4.78m (15尺7寸)			
出土遺物	なし。				
小結	堅穴部の面積 (19.3m <sup>2</sup> ) + 掘立柱部の面積 (29.8m <sup>2</sup> ) = 約49.1m <sup>2</sup> (約30畳)				

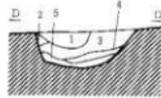
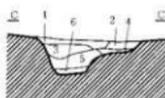
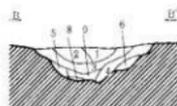
外周溝・10M	規模	長さ	23.7m	軸	82~96cm	断面形	箱形
		深さ	26~28cm	幅	22~53cm	傾斜	西→東
	堆積上	8層に分層された。暗褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土—土師器坏4、壺55、須恵器壺1、人糞1、石器1、石製品1					
小結	タイプ—南側は土坑が付随し、更に外周溝の末端がしっほ状に狭まる。 「U」字状に堅穴部を取り囲む形ではなく、北西側で止まる可能性がある。						

土坑196土	平面形	楕円形	壁	ゆるやかに外反する。		底面	丸底状である。
	規模	長軸	400cm	短軸	82~104cm	深さ	56cm
		出土遺物	堆積土—土師器18				
	小結	掘り込みが深い。					

土 坑 2 ・ 17 土	平面形	楕円形		壁	直線的に外反する。		底面	平坦である。		
	規模	長軸	227cm	短軸	183cm	深さ	42cm			
	堆積土									
	小結	105M、76土>172土の可能性はある。								



第V-1-65図 第20号建物跡(1)



0 2m

第105号 溝跡 (B-B') (南)

- 第1層 黒褐色土 10YH2/3 ローム粒微量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 L.B (小)、ローム粒少量。  
 第3層 黒褐色土 10YR3/2 L.B (大) (小) 少量。  
 第4層 暗褐色土 10YH3/3 L.B (小) 少量、炭化粒。  
 第5層 暗褐色土 10YH3/3 L.B (小) 少量。  
 第6層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化粒微量。  
 第7層 暗褐色土 10YR3/3 L.B (小) 微量。  
 第8層 黒土(炭化土) 10YR4/3 L.B (小) 中量。

第105号 溝跡 (D-D') 3 (北)

- 第1層 黒褐色土 10YH2/3 腐土、炭化物、L.B (大)、ローム粒微量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒少量、炭化粒微量。  
 第3層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化粒微量。  
 第4層 暗褐色土 10YH3/4 炭化粒、ローム粒少量。  
 第5層 暗褐色土 10YH3/4 L.B (小)、ローム粒少量。

第106号 溝跡 (C-C') (西)

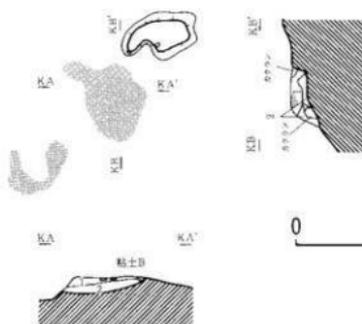
- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 炭化粒、ローム粒微量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 L.B (大) 中量。  
 第3層 黒褐色土 10YH3/2 L.B (小) 少量。  
 第4層 黒褐色土 10YR2/3 L.B (大) 多量。  
 第5層 明暗褐色土 10YH6/9 ローム層。  
 第6層 黒褐色土 10YR2/3 L.B (小)、ローム粒少量。

竪穴跡 (KA-KA' 間)

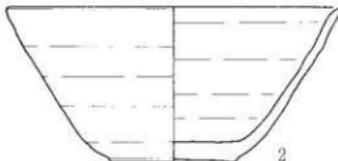
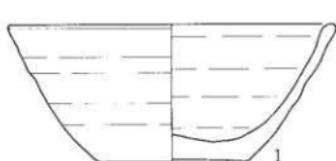
- 第1層 暗褐色土 7.5YR3/4 粘土多量、焼土B (大) 微量。  
 第2層 暗褐色土 7.5YR3/4 焼土粒多量、焼土B (小) 微量。

竪穴跡 (KB-KB' 間)

- 第1層 暗褐色土 7.5YR3/4 粘土、微土粒多量、焼土B中量。  
 第2層 暗褐色土 7.5YR3/4 粘土粒多量、焼土B (小) 微量。



0 1m



0 10cm

0 10cm

遺物番号	種類	形状	出土位置	計測値 (cm)			外形調整			内面調整			底面調整	分類	備考	写真番号		
				径	高さ	厚	口縁	肩部上	体部下半	口縁	肩部上	体部下半						
1	土師器	杯	1055 フタナ	(13.2)	5.5	6.0	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	底面調整
2	土師器	杯	96土 フタナ	(13.0)	6.2	5.0	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	底面調整

遺物番号	種別	種類	出土位置	長(mm)幅(mm)厚(mm)重(g)			特徴	備考	数量	
				長	幅	厚				
5	石製	3号 磨石	200 500 溝跡 覆土	122.5	74.0	42.0	267.2	凝灰岩の西米層 面取りしている可能性有り		12

第V-1-66図 第20号建物跡(2)

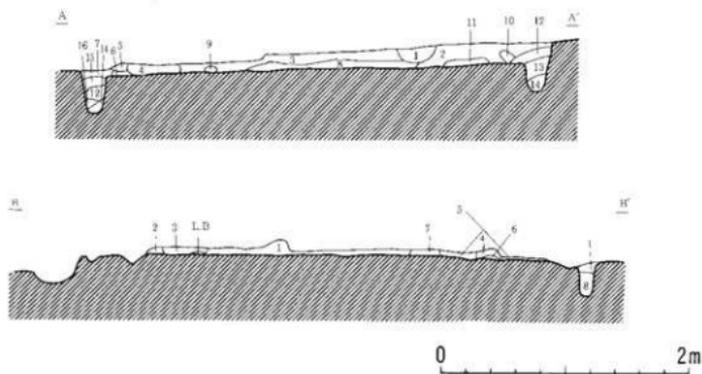
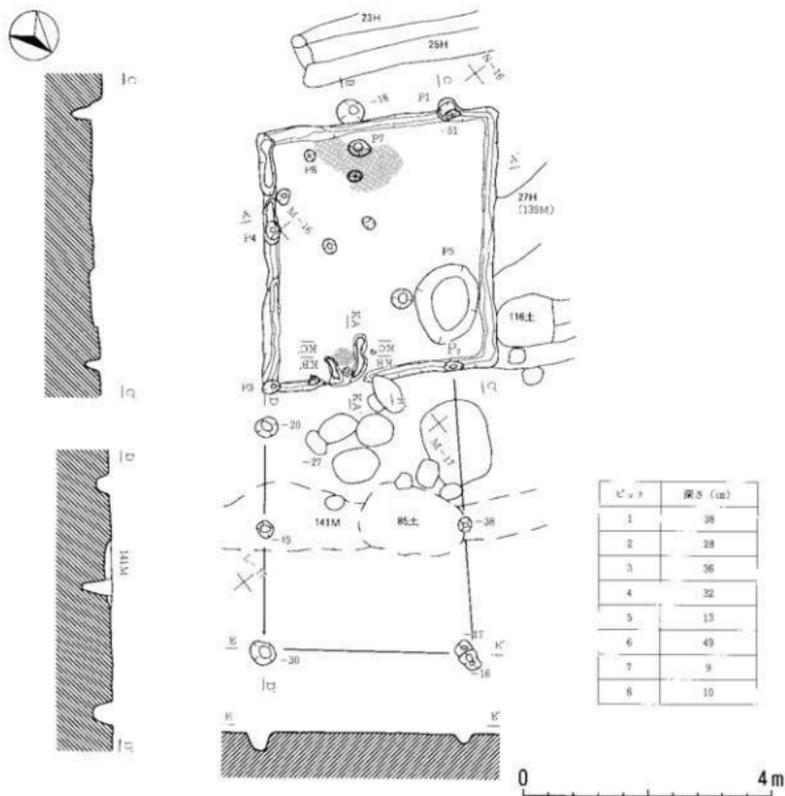
第21号建物跡 観察一覧表

位置	M-N-15-16	図版番号	第V-1-67~70図	写真図版番号	14-5-8,15-1
----	-----------	------	-------------	--------	-------------

重複関係	21H>27.35.36H>23.25H
------	----------------------

法 量	柱間寸法 (m)	南東壁	4.21	北西壁	4.13	南西壁	3.84	北東壁	3.75	
	壁 高 (m)		5		10		7			
	周溝幅 (m)		23		21		20		18	
	周溝深さ (m)		27		23		30		15	
平面形	長方形	床面積	約12.8㎡		主軸包囲		N-28°-E			
	壁	直線的に外反する。								
周 壁	かまど直下を除き一巡する。									
ピ ッ ト	13個検出された。									
穴	かまど	遺存状態 良好							位 置	北壁の東寄りである。
		かまど本体は粘土を貼り固めており、芯材は使用していない。燃焼部は、床面から掘り込まれており、火床面は、径35cm程の不整な楕円形を呈する。煙道部は、半地下式で住居外に多少延びる。煙出し部には、支脚に用いられたと思われる直径13cm程の上器器環が出土している。								
	堆 積 土	15層に分層された。褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物、焼土を混入する。人為堆積と思われる。								
	出土遺物	堆積上—上器器環2、甕86、須恵器壺1 貼床中—土器器環5、甕20 柱穴堆積上—須恵器環1 かまど床面—土器器環3								
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝—なし。土坑—なし。									
小 結	本建物跡は、かまどの軸方向が北である。また、外周溝も土坑も伴わない可能性が高い。第23.25号、第27.35.36号建物跡との重複関係や出土遺物から、本建物跡の時期は、10世紀中葉〜後半と思われる。									

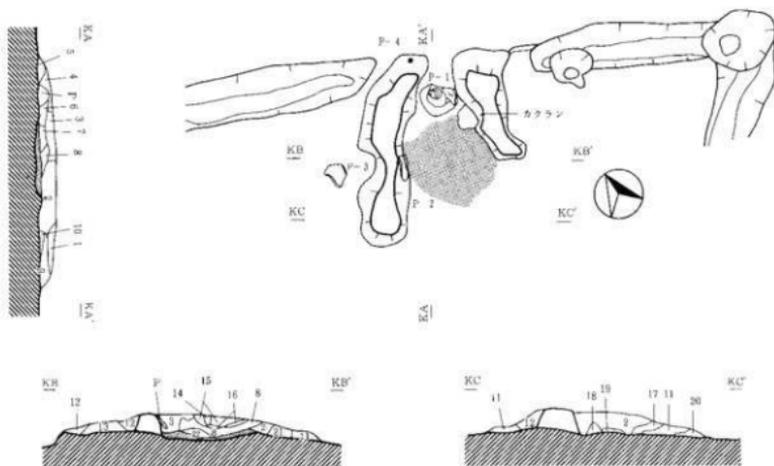
掘 立 柱 部	規 模	桁行2間(総長4.25m—東)×梁行1間(総長3.33m—北)							
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。							
	柱 穴	径	28cm~41cmの楕円形の掘り方である。						
		深 さ	16cm~45cmである。						
	柱間寸法	桁行	1.98m (6尺5寸)、2.27m (7尺5寸)						
		梁行	3.33m (10尺0寸)						
出土遺物	なし。								
小 結	竪穴部の面積 (12.8㎡) + 掘立柱部の面積 (14.2㎡) = 約27.0㎡ (約17柱)								



第V-1-67図 第21号建物跡(1)

第20号 整穴部東西セクション (A-A')

第1層	にじい黄褐色土	10YR4/3	ローム粒中層、微土、炭化物少量、L.B(大)微量。
第2層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒中層、炭化物、L.B(大)少量、微土微量。
第3層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒少量、微土、炭化物微量。
第4層	褐色土	10YR4/4	ローム粒多量、微土、炭化物少量、L.B(大)微量。
第5層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、微土、炭化物微量。
第6層	褐色土	10YR4/4	ローム粒中層、炭化物少量。
第7層	にじい黄褐色土	10YR4/3	ローム粒中層、微土、炭化物微量。
第8層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒中層。
第9層	褐色土	7.5YR4/4	ローム中層、微土少量、炭化物、L.B(小)微量。
第10層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、L.B(中)少量、微土、炭化物微量。
第11層	にじい黄褐色土	10YR4/3	ローム粒多量、微土、炭化物微量。
第12層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒多量、炭化物少量、微土微量。
第13層	褐色土	10YR4/6	ローム粒多量、炭化物少量。
第14層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒多量、炭化物少量、L.B微量。
第15層	褐色土	10YR4/4	ローム粒多量、炭化物微量。
第16層	褐色土	10YR4/4	ローム粒多量、炭化物微量。



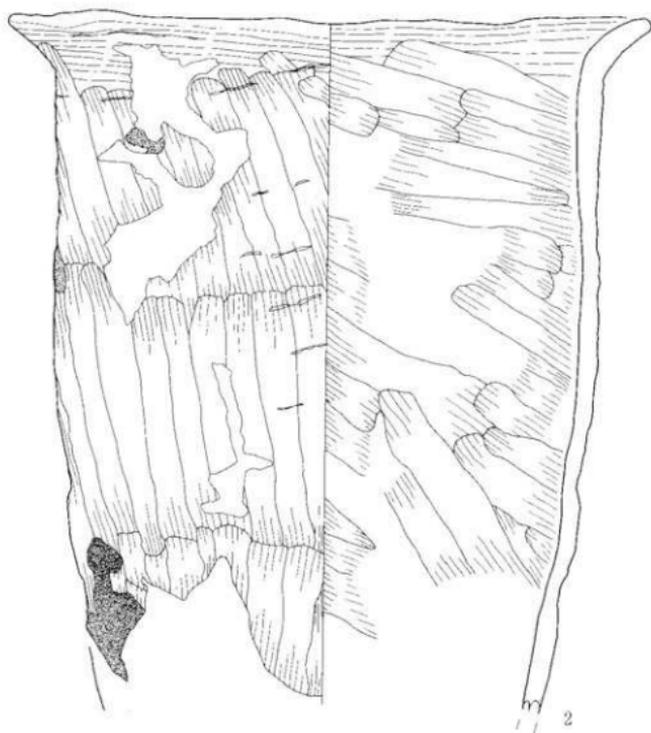
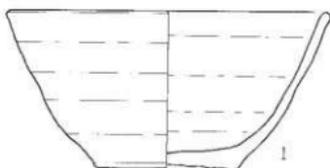
第21号 整穴部南北セクション (B-B')

第1層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒中層。
第2層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒多量、微土中層、炭化物少量。
第3層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒少量、微土粒、炭化物、L.B(大)微量。
第4層	黄褐色土	10YR5/6	微土、炭化物微量。
第5層	にじい黄褐色土	10YR4/3	ローム粒中層、微土、炭化物少量。
第6層	暗褐色土	10YR3/3	微土、炭化物多量。
第7層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒少量、微土、炭化物微量。
第8層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中層、微土少量、炭化物、L.B(大)微量。

第21号 整穴部カマド (KA-KA', KB-KB', KC-KC')

第1層	黒褐色土	10YR2/2	微土粒、ローム粒微量。
第2層	にじい黄褐色土	10YR5/4	微土(小)少量、炭化物、粘土(小)微量。
第3層	褐色土	10YR4/4	ローム粒中層、微土(大)、炭化物少量。
第4層	褐色土	10YR4/4	微土、微土粒、炭化物、ローム粒微量。
第5層	褐色土	10YR4/4	ローム粒少量、微土粒、炭化物微量。
第6層	褐色土	10YR4/6	ローム粒中層、微土少量、炭化物微量。
第7層	明褐色土	10YR5/8	ローム粒少量、微土、微土少量、炭化物微量。
第8層	褐色土	7.5YR4/4	微土少量、炭化物微量。
第9層	褐色土	10YR4/4	微土(小)、微土粒、炭化物、ローム粒微量。
第10層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒少量、微土粒、炭化物、粘土少量。
第11層	にじい黄褐色土	10YR4/3	微土、炭化物、L.B(小)、ローム粒少量。
第12層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒少量、微土、炭化物(小)微量。
第13層	褐色土	10YR4/4	ローム粒多量、炭化物少量、微土微量。
第14層	灰黄褐色土	10YR4/2	ローム粒中層、微土粒微量。
第15層	明黄褐色土	10YR5/6	微土少量、炭化物、白粘土微量。
第16層	暗褐色土	7.5YR3/6	ローム粒中層、微土(中)、炭化物微量。
第17層	暗褐色土	10YR3/4	微土、炭化物中層、ローム粒少量。
第18層	褐色土	10YR4/6	ローム粒中層、微土少量、炭化物微量。
第19層	暗褐色土	7.5YR3/4	微土中層、炭化物微量。
第20層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒少量、微土、炭化物微量。
第21層	褐色土	10YR4/4	ローム粒中層、微土(小)微量。
第22層	暗褐色土	7.5YR3/6	微土中層、炭化物少量。

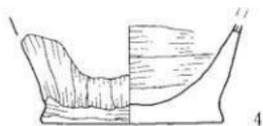
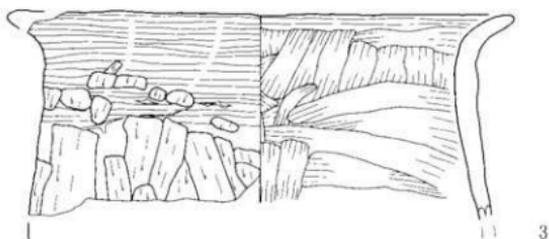
第V-1-68図 第21号建物跡(2)



0 10cm

遺物 番号	種類	石種	出土位置	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			断面調整	分類	備考	写真 番号	
				11区	高さ	径深	口縁	底縁	下部	口縁	底縁	下部					
1	土製器	埴	方字土 埋藏	12.5	6.3	5.7	□	○	○	○	○	○	○				
2	土製器	埴	方字土	25.5	(27.6)		□	○	○	○	○	○	○				

第V-1-69図 第21号建物跡(3)



0 10cm

遺物番号	種類	石種	出土位置	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			取山調整	分級	備考	写真番号
				口径	高さ	底径	口縁	胴部	下部	口縁	胴部	下部				
3	土師器	甕	フタ土 (202)	(1.7)			ヨコナデ	ヘラナデ		ヨコナデ	ヘラナデ					
4	土師器	小甕	フタ土	(3.9)	7.1			ヘラナデ			ヘラナデ		砂底		二次焼成、支脚	

第V-1-70図 第21号建物跡(4)

第23号建物跡 観察一覧表

位置		M-N-15-16	図版番号		第V-1-71~75図	写真図版番号		14-5, 6, 15-3~6	
重複関係		21H>27.35.36H>23H (25Hを拡張) >25H							
法 量	壁 長 (m)	(6.00)	(5.28)	5.40	(5.33)				
	壁 高 (m)	—	—	—	—				
	周溝幅 (m)	—	27	33	20				
	周溝深さ (m)	—	27	15	27				
平面形	正方形	床面積 約 (26.1) m <sup>2</sup>		主軸包囲 N-108°-E					
壁	検出されなかった。							床 平坦である。	
周 壁	東壁及び北壁の一部を除き一巡する。								
ピ ッ ト	12個検出された。主柱穴は、P <sub>3</sub> ~P <sub>12</sub> と思われる。								
か ま ど	遺存状態 検出されなかった。		位 置 不明である。						
堆 積 土	南側壁寄り、わずかの焼土・粘土を検出した。内周溝堆積土のみ検出された。6層に分割され、暗褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、炭化物を混入する。人為堆積と思われる。								
出土遺物	堆積土十師器坏5、甕23、須恵器大甕1 ミニチュア土器1、鉄製品2 粘土・粘土中一土師器甕1								
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-140M、141M、200M、土坑-85土 (25Hと共通) 南側に2間の扇状の施設外周溝は3条か2条になると思われる。								
小 結	上部がかなり削平され、かつ攪乱を受けている。第21号、第27.35.36号建物跡との重複関係及び出土遺物から、本建物跡の時期は、9世紀中葉と思われる。								

第25号建物跡 観察一覧表

位置		M-N-15-16	図版番号		第V-1-71~75図	写真図版番号		14-5, 6, 15-3~6	
重複関係		21H>27.35.36H>23H (25Hを拡張) >25H							
法 量	壁 長 (m)	(5.20)	(5.23)	4.51	(4.53)				
	壁 高 (m)	—	—	—	—				
	周溝幅 (m)	—	33	34	26				
	周溝深さ (m)	—	25	19	21				
平面形	長方形	床面積 約 (19.0) m <sup>2</sup>		主軸包囲 N-108°-E					
壁	検出されなかった。							床 平坦である。	
周 壁	東壁及び北壁の一部を除き一巡する。								
ピ ッ ト	4個検出された。主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>4</sub> と思われる。								
か ま ど	遺存状態 検出されなかった。		位 置 不明である。						
出土遺物	南東隅柱堆積土一土師器坏9、甕3、須恵器甕1、大甕1・内周溝堆積土一土師器甕15								
附属施設	掘立柱建物跡1メートル 外周溝-140M、141M、200M、土坑-85土 南側に2間の扇状の施設 (23Hと共通)								
小 結	第23号建物跡との重複関係から、本建物跡の時期は、9世紀の中葉に近い前半と思われる。								

掘立柱部 1	規模	桁行2間(総長5.82m-北)×梁行3間(総長5.63m-東)		
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。		
	柱穴	径	20cm~49cmの楕円形の掘り方である。	
		深さ	25cm~50cmである。	
	柱間寸法	桁行	-3.48m(11尺5寸)、2.34m(7尺7寸)	
出土遺物	なし。			
小結	竪穴部の面積(26.1㎡)+掘立柱部の面積(32.8㎡)=約58.9㎡(約36畳)			

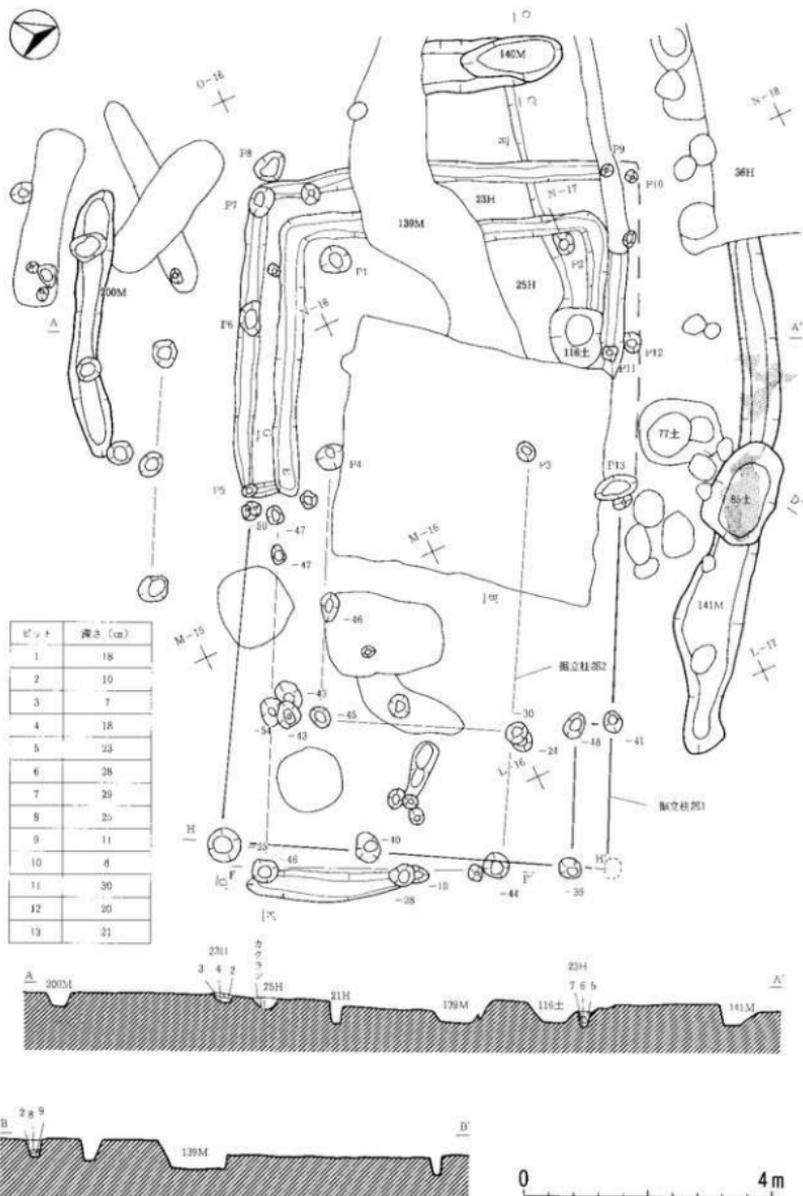
掘立柱部 2	規模	桁行3間(総長5.76m-)×梁行2間(総長3.74m-)		
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。		
	柱穴	径	30cm~45cmの楕円形の掘り方である。	
		深さ	24cm~54cmである。	
	柱間寸法	桁行	-0.68m(2尺2寸)、2.52m(8尺3寸)、2.56m(8尺4寸)	
出土遺物	なし。			
小結				

外周溝・田M	規模	長さ	(2.3)m	幅	76cm	断面形	箱形
		深さ	50cm	幅	31cm	傾斜	南→北
	堆積土	12階に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、粘土、炭化物を混入する。人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土-縄文土器1					
	小結	第27.35.36号建物跡に切れ、141Mとつながるかは不明である。タイプ-木端に十坑が付随し、更に幅はそのまま延びる。					

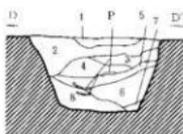
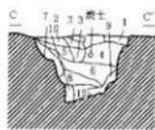
外周溝・田M	規模	長さ	(18.3)m	幅	50~116cm	断面形	箱形
		深さ	8~13cm	幅	20~75cm	傾斜	西→東
	出土遺物	堆積土-土器器環2、斐24、須恵器壺3					
	小結	第27.35.36号建物跡に切れ、140Mとつながるかは不明である。					

外周溝・田M	規模	長さ	4.2m	幅	45cm	断面形	箱形
		深さ	22cm	幅	24cm	傾斜	西→東
	出土遺物	なし。					
	小結	タイプ-「U」字形ではなく、3分または2分される。200Mより柱穴は新しい。					

土坑 85上	平面形	楕円形	壁	直線的に立上がる。	底面	平坦である。	
	規模	長軸	164cm	短軸	108cm	深さ	59cm
	堆積土	8階に分層された。暗褐色土を主体とし、ローム粒、焼土を混入する。中位で白頭山火山灰が検出された。人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土-土器器31、須恵器3					
	小結	粘土、焼土の腐葉がみられる。					



第V-1-71図 第23・25号建物跡(1)

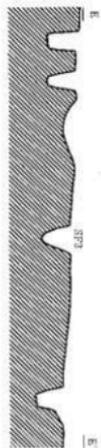


第5号 土坑 (D-D')

- |     |          |         |                     |
|-----|----------|---------|---------------------|
| 第1層 | 黑褐色土     | 10YR3/1 | L.H (小) 少量。         |
| 第2層 | 暗褐色土     | 10YR3/3 | α-A粒、炭化物、粘土多量。      |
| 第3層 | C2-1 凝結土 | 10YR6/4 | α-A粒、褐色土、紫色土、炭化物微量。 |
| 第4層 | 暗褐色土     | 10YR3/4 | α-A粒、粘土、炭化物微量。      |
| 第5層 | 暗褐色土     | 10YR3/3 | α-A粒少量、火山灰、砂少量。     |
| 第6層 | 暗褐色土     | 10YR3/4 | α-A粒多量、L.B (大)。     |
| 第7層 | 黑褐色土     | 10YR3/1 | L.B (大)、黑色土微量。      |
| 第8層 | 黑褐色土     | 10YR2/2 | 炭化物、α-A粒、L.H微量。     |

第140号 溝跡 (C-C')

- |      |      |         |                                  |
|------|------|---------|----------------------------------|
| 第1層  | 暗褐色土 | 10YR3/3 | α-A粒中量、炭化物、L.H (小) 微量。           |
| 第2層  | 暗褐色土 | 10YR2/3 | α-A粒中量、炭化物、L.B (小) 微量。           |
| 第3層  | 黑褐色土 | 10YR2/2 | α-A粒少量、炭化物、灰白色粘土微量。              |
| 第4層  | 黑褐色土 | 10YR2/3 | α-A粒中量、粘土、灰白色粘土少量、粘土、L.B (小) 微量。 |
| 第5層  | 黑褐色土 | 10YR2/2 | α-A粒少量、炭化物、L.H (小) 微量。           |
| 第6層  | 暗褐色土 | 10YR2/2 | α-A粒中量、炭化物微量。                    |
| 第7層  | 暗褐色土 | 10YR3/3 | α-A粒多量、炭化物、L.H (大) 微量。           |
| 第8層  | 暗褐色土 | 10YR3/3 | α-A粒多量、炭化物、L.B (大) 微量。           |
| 第9層  | 黑褐色土 | 10YR2/1 | α-A粒少量、炭化物微量。                    |
| 第10層 | 黑褐色土 | 10YR3/2 | L.B (小) 少量、炭化物、α-A粒少量。           |
| 第11層 | 暗褐色土 | 10YR2/2 | α-A粒少量、L.H (小) 少量、炭化物微量。         |
| 第12層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | α-A粒多量、炭化物微量。                    |

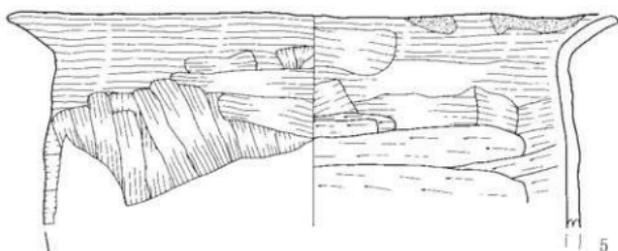
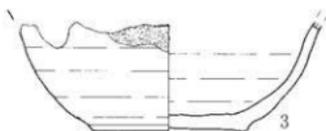
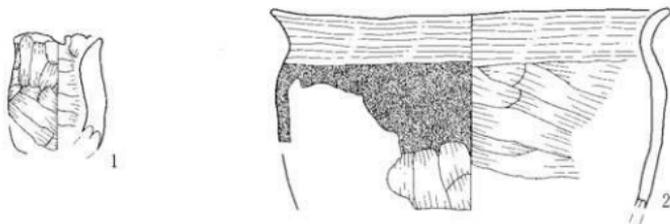


第5号 (A-A', B-B')

- |     |          |         |                                 |
|-----|----------|---------|---------------------------------|
| 第1層 | C2-1 凝結土 | 10YR6/3 | α-A粒多量、粘土、炭化物少量、L.H (大) 微量。     |
| 第2層 | 暗褐色土     | 10YR3/4 | α-A粒中量、炭化物、L.B (大) 微量。          |
| 第3層 | 黑褐色土     | 10YR2/3 | α-A粒、粘土中量、L.H (小)、粘土上粒少量、炭化物微量。 |
| 第4層 | 黑褐色土     | 10YR2/3 | α-A粒多量、粘土微量。                    |
| 第5層 | C2-1 凝結土 | 10YR6/3 | α-A粒中量、L.H (大) 少量、粘土、炭化物微量。     |
| 第6層 | 暗褐色土     | 10YR4/3 | α-A粒中量、L.H (小)、炭化物少量、粘土微量。      |
| 第7層 | 暗褐色土     | 10YR3/4 | α-A粒少量、粘土、炭化物微量。                |
| 第8層 | 暗褐色土     | 10YR4/4 | L.B (大)、α-A粒多量、炭化物少量。           |
| 第9層 | 暗褐色土     | 10YR3/3 | α-A粒少量、L.B (小)、炭化物微量。           |



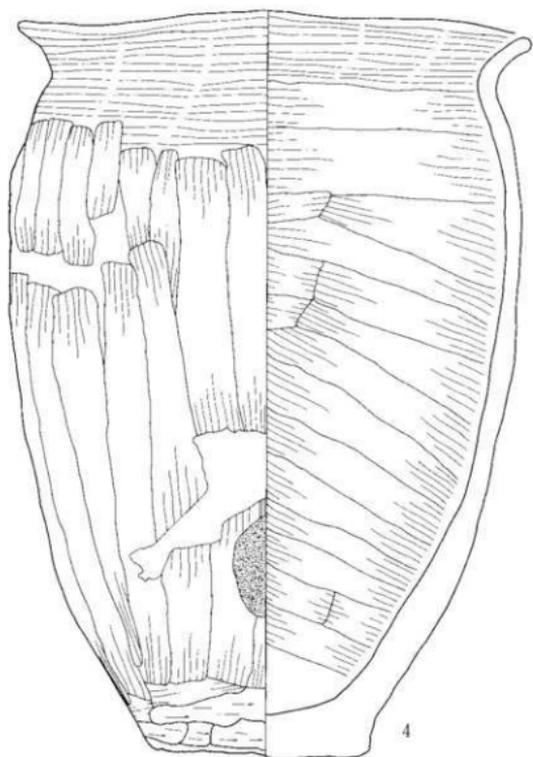
第V-1-72图 第23·25号建物跡 (2)



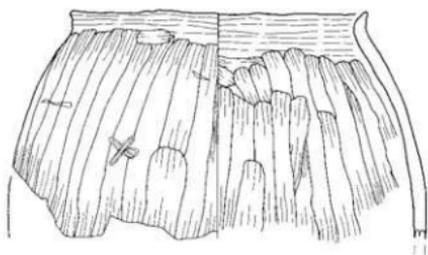
0 10cm

遺物番号	種類	基壇 出上位置	計測値 (cm)		外 面 測 量				内 面 測 量				底面調整	分 割	備 考	写真番号	
			口幅	高さ	口幅	傾 斜	体部上半	体部下半	1段 部	体部下半	体部上半	体部下半					
1	土師器	109.7	23H フクナ	(13.5)	(4.5)			ヨコナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	ユビナデ	ユビナデ					
2	土師器	141.0	29H フクナ	(16.0)	(7.8)			ヨコナデ	ヘラナデ		ヨコナデ	ヘラナデ				ハクシ	
3	土師器	143.1	フクナ	(4.2)	6.1			ヨコナデ	ヘラナデ		ヨコナデ	ヘラナデ				二次焼成 筋跡	
5	土師器	141.0	29H フクナ	(22.4)	6.5			ヨコナデ	ヘラナデ		ヨコナデ	ヘラナデ				二次焼成 筋跡 外周に生 黄色 化粧土	

第V-1-73図 第23・25号建物跡(3)



4

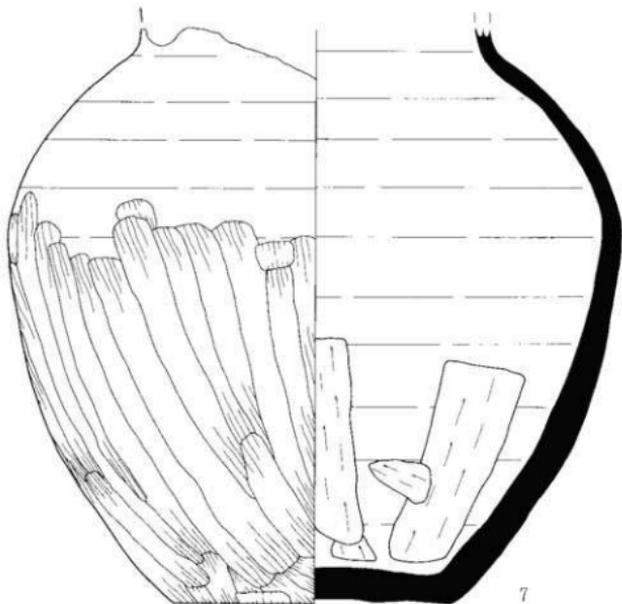


6

0 10cm

遺物番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			底面調整	分類	書	考	写真番号	
				口径	器高	底径	11線	高体部上半	体部下半	11線	高体部上半	体部下半						
4	土師器	甕	堀土 機上中	20.0	29.9	8.3	ヨコナテ	ヘラナテ	ヘラナテ	ヘラナテ	ヘラナテ	ヘラナテ	砂紙		外面1/2 着色			
6	土師器	甕	堀土 機上中	(11.9)	(9.0)		ヨコナテ	ヘラナテ		ヨコナテ	ヘラナテ				ヘラ、記号			

第V-1-74図 第23・25号建物跡(4)

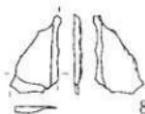


7

0 10cm

遺物番号	種類	器種	出土位置	寸法値 (cm)		外面装飾			内面装飾			底面装飾	分類	備考	写真番号	
				口径	深高	縦径	口縁部	体部上半	体部下半	縁部	体部上半					体部下半
7	須恵器	短頸壺	55土 アケ上	23.0	11.0		ロケロ	ヘラナデ		ロケロ	ヘラナデ	ヘラナデ				

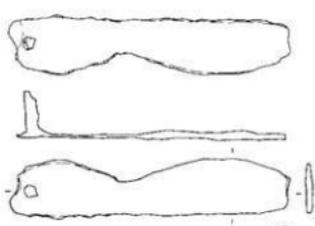
遺物番号	種別	種類	出土位置	長(mm)幅(mm)厚(mm)重(g)				特徴	備考	整理
				長	幅	厚	重			
	鉄	鉄片	55土 覆土				462.8	上記の須恵器裏の中から出土	図示なし	01



8



9



10

0

5cm

遺物番号	種別	種類	出土位置	長(mm)幅(mm)厚(mm)重(g)				特徴	備考	磁石 付力	整理 号
				長	幅	厚	重				
8	鉄製品	刃先か	23H 覆土	33.0	19.0	5.0	2.3	刃に付随するか不明		○	07-2
9	鉄製品	釘か	23H 覆土	69.0	39.0	8.0	44.5	梅川形を呈し、中央は刃部の断面形に穿孔	分析実施	○	07-1
10	鉄製品	不明	25H 覆土	113.0	23.0	4.0	14.7	鋸金目と不明金目、中央部がV字形に窪く、一方に目録残存		△	08

第V-1-75図 第23・25号建物跡(5)

第24号建物跡 観察一覧表

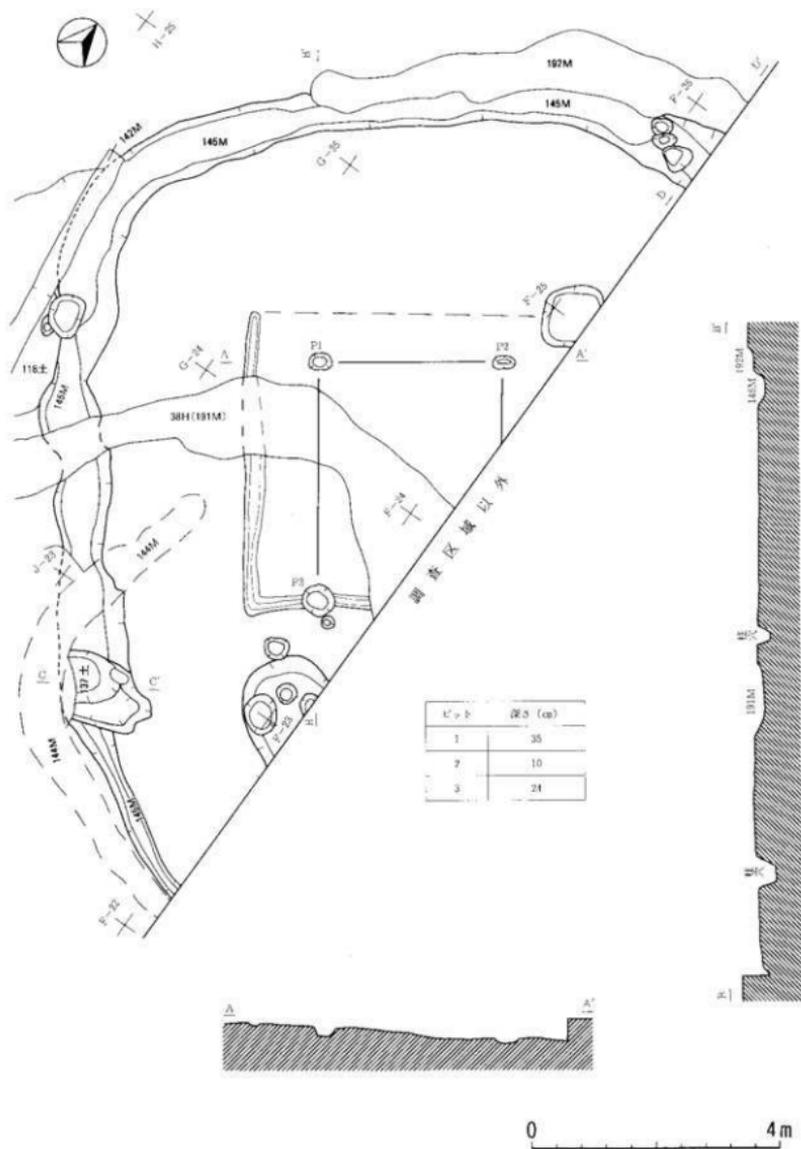
位置	F~G-23~24	図版番号	第V-1-76~77図	写真図版番号	15-2
----	-----------	------	-------------	--------	------

重複関係	38H、142、192M、86、118土>24H>144M
------	-------------------------------

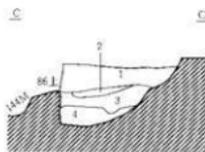
壁	法量	南東壁	北西壁	南西壁	北東壁	
		壁長 (m)	(2.30)	(5.25)	4.85	—
		壁高 (m)	—	—	—	—
		周溝幅 (m)	21	—	31	—
		周溝深さ (m)	8	—	7	—
	平面形	正方形	床面積	約 (22.7) m <sup>2</sup>	主軸包囲	N-137°-E
	壁	検出されなかった。			床	平坦である。
	周壁	東西壁及び南東壁の一部を一巡する。				
	ピット	3個検出された。 主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>2</sub> で、調査区域外にP <sub>1</sub> が存在すると思われる。				
	かまど	遺存状態 検出されなかった。 位置 不明である。 焼土及び袖に用いたと思われる粘土の一部を検出した。				
部	堆積土	検出されなかった。				
	出土遺物	なし。				
	附属施設	堀立柱建物跡-なし、外周溝-145M、土坑-137土。				
	小結	上部はかなりの削がされている。全体の2分の1以上は調査区域外へ延びる。第38号建物跡との重複関係や外周溝の出土遺物から、本建物跡の時期は、10世紀前半代?と思われる。				

外周溝・堀M	規模	長さ (21.7)m	幅 90cm	断面形	箱形
		深さ 53cm	幅 54cm	傾斜	西→東
	堆積土	3層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 自然堆積と思われる。			
	出土遺物	堆積土-土師器杯4、甕120、須恵器杯4、壺5、人甕4			
	小結	タイプ-南側は土坑が付随し、更にしつぽ状に延びる。北川は中央(西側)に比べてかなり幅が広がる。			

土坑・貯土	平面形	(楕円形)	壁	ゆるやかに立上がる。	底面	丸底状
	規模	長軸 (147) cm	短軸 110cm	深さ	49cm	
	堆積土	4層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 自然堆積と思われる。				
	出土遺物	なし。				
	小結	86土に切られ、全体の形状等は不明である。				

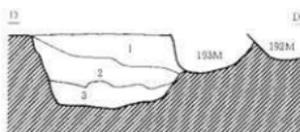


第V-1-76図 第24号建物跡(1)



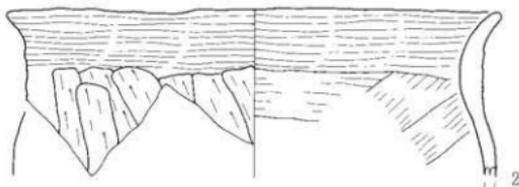
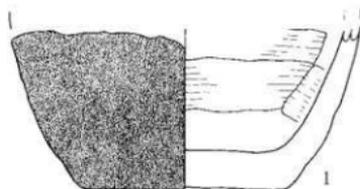
第137号 土境 (C-C')

- 第1層 黒褐色土 10YR3/1 ローム粉、黒色土、褐色土少量。  
 第2層 暗灰色土 10YR5/1 粘土少量。  
 第3層 黄褐色土 10YH3/1 ローム粒、黒色土、褐色土少量。  
 第4層 紅褐色土 10YR7/2 黒色土、ローム粒少量。



第145号 土境 (D-D')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 L.R.、ローム粒微量。  
 第2層 黒色土 10YR2/1 L.D.微量。  
 第3層 明黄褐色土 10YH6/8 ローム粒。



遺物番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)		外面調整		内面調整		底面調整	分類	備考	写真番号
				口径	器高	底径	口縁部(体部上半)	体部(下半)	口縁部(体部上半)				
1	土師器	甕	145 M ツクナ	(6.4)	7.9		?		ヘラナデ			二次焼成、磨耗、ハク	
2	土師器	甕	145 M ツクナ	(19.2)	(6.6)		ヨコナデ	ヘラナデ	ヨコナデ	ヘラナデ			

第V-1-77図 第24号建物跡(2)

第27号建物跡 観察一覧表

位置	M~N-15~16	図版番号	第V-1-78~86図	写真図版番号	M-5.15-7.16-2~4
----	-----------	------	-------------	--------	-----------------

重複関係	21H>27H (35Hを拡張) >35H (36Hを拡張) >36H>23H, 25H 102, 104.107土>27H
------	---

法量	壁長 (m)	東壁	西壁	南壁	北壁
	壁高 (m)	6.66	6.80	5.61	5.94
平面形	周溝幅 (m)	(27)	35	27	35
	周溝深さ (m)	(18)	12	13	23
平面形	長方形	床面積	約32.9m <sup>2</sup>	主軸方位	N-101°-E
壁	検出されなかった。			床	平坦である。
周壁	東壁の両端及びかまど直下を除き一巡する。				
ビット	12個検出された。 ※明らかに伴うかどうかは不明瞭 主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>10</sub> と思われる。				
かまど	遺存状態 不良 位置 東壁の南寄りと思われる。				
堆積土	南壁寄りでわずかに焼土・粘土を検出した。				
出土遺物	内周溝堆積土のみ検出された。5層に分層され、黒褐色を主体とし、ローム粒を混入する。 堆積土-土師器環12、甕70、須恵器壺2、大甕2 焼土・粘土中-土師器環6、甕14 貼床中-土師器環3、甕8、鉄製品2 (斧1、?1) 1土堆積土-須恵器壺1、3土堆積土-鉄製品1 (刀子)、3土堆積土-鉄製品2 (釘)、				
	掘立柱建物跡1、外周溝-139M (35.36Hも共通)、155M、土坑-80土 外周溝は1本につながる可能性あり。				
附属施設	上部がかなり削平され、かつ攪乱を受けている。				
小結	外周溝からの白頭山火山灰の検出状況や重複関係や出土遺物から本建物跡の時期は、9世紀末~10世紀初頭と思われる。				

外周溝・139M	規模	長さ (6.3)m	幅	76cm	断面形	箱形
		深さ	50cm	幅	31cm	傾斜
出土遺物	堆積土-土師器環13、甕53、須恵器環2、壺2、大甕1					
小結	21H等に切られ、全体の形状等は不明である。155Mとつながる可能性あり。					

外周溝・155M	規模	長さ (10.1)m	幅	120~170cm	断面形	箱形
		深さ	70cm	幅	50~120cm	傾斜
堆積土	17層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物、砂を混入する。中位で白頭山火山灰を検出した。 自然堆積と思われる。					
出土遺物	堆積土-土師器環20、甕181、須恵器環1、壺11、大甕24 125Mを吸収統合した。					
小結	タイプ北側の末端に土坑が付随する。139Mとつながる可能性あり。					

土坑・80土	平面形	楕円形	壁	直線的に外反する。		底面	平坦である。
	規模	長軸	190cm	短軸	145cm	深さ	65cm
堆積土	9層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物を混入する。上位で白頭山火山灰を検出した。人為堆積と思われる。						
出土遺物	堆積土-土師器161、須恵器16、鉄製品1						
小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。掘り直しの可能性が高い。						

第35号建物跡 観察一覧表

位置	M-N-17-18	図版番号	第V-1-78-86図	写真図版番号	14-5,15-7,16-2
----	-----------	------	-------------	--------	----------------

重複関係	21H>27H (35Hを拡張) >35H (36Hを拡張) >36H>23H, 25H
------	--

堅 部	法量	壁長 (m)	—	4.47	—	—
		壁高 (m)	—	—	—	—
		周溝幅 (m)	—	30	—	—
		周溝深さ (m)	—	28	—	—
	平面形	(長方形)	床面積		主軸方位	N-101°-E
	壁	検出されなかった。			床	平坦である。
	周壁	西壁を巡る。その他の壁については不明である。				
	ピット	どのピットが伴うかは不明瞭である。				
	かまど	遺存状態	検出されなかった。	位置	不明である。	
	堆積土	検出されなかった。				
出土遺物	明らかに35Hに伴う遺物はない。ほとんどの遺物は、27H出土として取り上げたが35Hや36Hの時期に伴うと思われる遺物もあり、時期差に幅がある。					
	附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-139M (27, 36Hも共通)、185M, 132M, 土坑-なし ※外周溝は1本につながる可能性あり。				
小結	プランが明確ではない。 重複関係から本建物跡の時期は、9世紀後半と思われる。					

外周溝・ 15M	規模	長さ	(7.00)m	幅	110cm	断面形	U字形
		深さ	26cm	幅	78cm	傾斜	西→東
	堆積土						
	出土遺物	堆積土-土師器杯4、甕25、須恵器壺1、人甕1					
小結	北側は削平されて検出できなかった。						

外周溝・ 111M	規模	長さ	(2.60)m	幅	62cm	断面形	U字形
		深さ	18cm	幅	25cm	傾斜	西→東
	堆積土						
	出土遺物	堆積土-土師器杯3、甕18、須恵器甕2					
小結	北側は削平されて途切れる。						

第36号建物跡 観察一覧表

位置	M~N-17~18	図版番号	第V-1-78~86図	写真図版番号	14、15、17、16-2
----	-----------	------	-------------	--------	---------------

重複関係	21H>27H(35Hを拡張) >35H(36Hを拡張) >36H>23H、25H
------	---

壁	法量	東壁	西壁	南壁	北壁	
		壁長(m)	4.23	4.22	3.68	3.90
		壁高(m)	—	—	—	—
		周溝幅(m)	27	34	40	37
		周溝深さ(m)	18	22	20	20
平面形	長方形	床面積	約11.0㎡	主軸方位		N-101°-E
	壁	検出されなかった。			床	平坦である。
穴	周壁	東壁の一部を除き一巡する。				
	ピット	5個検出された。 やや不明瞭であるが、丁柱穴はP <sub>1</sub> で壁柱穴はP <sub>2</sub> 、P <sub>3</sub> 、P <sub>4</sub> 、P <sub>5</sub> と思われる。				
	かまど	遺存状態		検出されなかった。		
	位置	不明である。				
	堆積土	内周溝堆積土のみ検出された。				
部	出土遺物	明らかに36Hに伴う遺物はない。				
	附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-139M(27、35Hも共通)、182M、131M、土坑-なし ※外周溝は1本につながる可能性あり。				
	小結	上部がかなり削平され、かつ擾乱を受けている。 重複関係から、本建物跡の時期は、9世紀中葉~後半と思われる。				

外周溝・M	規模	長さ	(4.53)m	幅	100cm	断面形	箱形
		深さ	30cm	幅	57cm	傾斜	西→東
	堆積土	2層に文層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、炭化粒を混入する。 人為か自然堆積かは不明である。					
	出土遺物	堆積土-土師器環1、甕38、須恵器環1、壺1、人糞2					
小結	102.103.143土等に切られ、全体の形状等は不明である。						

外周溝・M	規模	長さ	(6.24)m	幅	70cm	断面形	箱形
		深さ	49cm	幅	34cm	傾斜	西→東
	堆積土	13層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物を混入する。 人為堆積と思われる。					
	小結	北側は削平されて途切れる。					

掘立柱部 1	規模	桁行2間(総長5.86m—北)×梁行1間(総長4.45m—東)		
	平面形状	長方形を呈する東西棟建物跡である。		
	柱 穴	径	32cm～50cmの円形の掘り方である。	
		深さ	27cm～42cmである。	
	柱間寸法	桁行—2.54m(8尺4寸)、3.32m(11尺0寸) 梁行—4.45m(16尺9寸)		
出土遺物	なし。			
小 結	竪穴部の面積(32.9㎡)+掘立柱部の面積(26.1㎡)=約59.0㎡(約36畳)			

掘立柱部 2	規模	桁行2間(総長4.08m—北)×梁行1間(総長4.00m—東)		
	平面形状	正方形を呈する東西棟建物跡である。		
	柱 穴	径	20cm～30cmの楕円形の掘り方である。	
		深さ	42cm～54cmで、比較的深い。	
	柱間寸法	桁行—2.10m(6尺9寸)、1.98m(6尺5寸) 梁行—4.00m(13尺0寸)		
出土遺物	なし。			
小 結	竪穴部の面積( )+掘立柱部の面積(32.8㎡)=約 ㎡(約 畳)			

掘立柱部 3	規模	桁行1間(総長2.63m—北)×梁行1間(総長4.40m—東)		
	平面形状	長方形を呈する東西棟建物跡である。		
	柱 穴	径	26cm～30cmの円形の掘り方である。	
		深さ	26cm～46cmで比較的深い。	
	柱間寸法	桁行—2.63m(8尺7寸) 梁行—4.40m(14尺5寸)		
出土遺物	なし。			
小 結	竪穴部の面積(11.0㎡)+掘立柱部の面積(11.6㎡)=約22.6㎡(約14畳)			

外周溝・ 田 M	規模	長さ	(6.3)m	幅	76cm	断面形	箱形
		深さ	50cm	幅	31cm	傾斜	南→北
	出土遺物	堆積土—土師器杯13、甕53、須恵器杯2、壺2、人甕1					
	小 結	21H等に切られ、全体の形状等は不明である。					

外周溝・ 15 M	規模	長さ	(10.1)m	幅	120～170cm	断面形	箱形
		深さ	70cm	幅	50～120cm	傾斜	西→東
	堆積土	17層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物、砂を混入する。中位で白頭山火山灰を検出した。					
	出土遺物	堆積土—土師器杯20、甕181、須恵器杯1、壺11、大甕24					
	小 結	125Mを吸収統合した。					

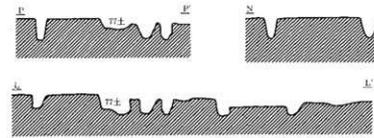
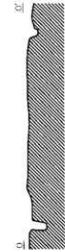
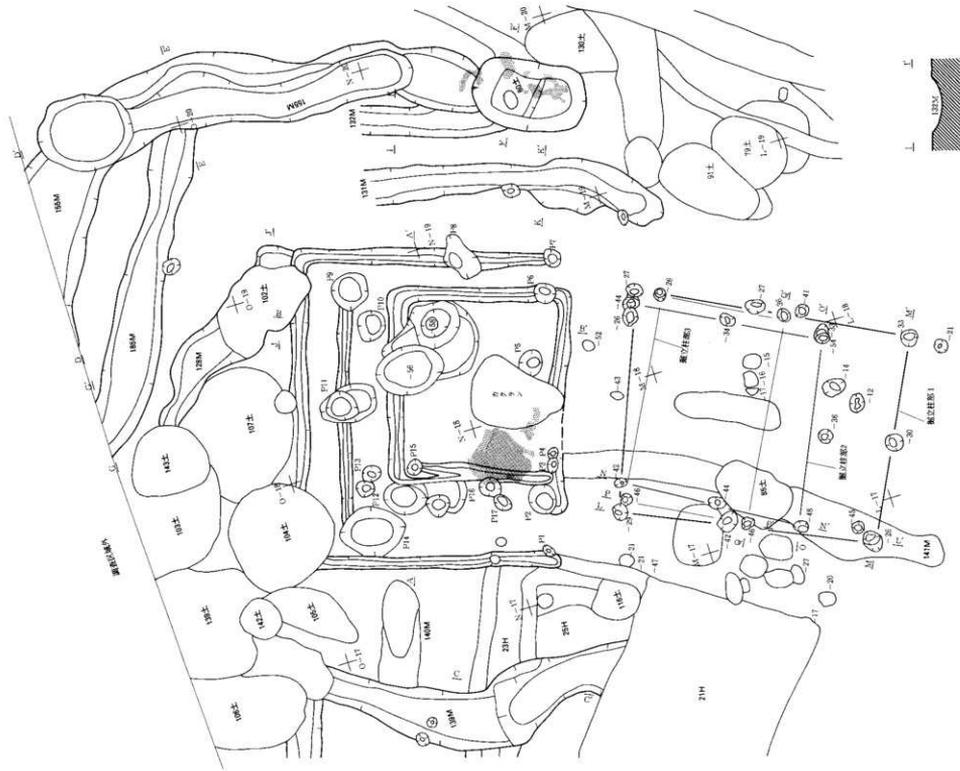
土坑・ 80 土	平面形	楕円形			壁	直線的に外反する。		底面	平坦である。		
	規模	長軸	190cm		短軸	145cm		深さ	65cm		
		堆積土	9層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物を混入する。上位で白頭山火山灰を検出した。人為堆積と思われる。								
	出土遺物	堆積土—土師器杯161、須恵器16、鉄製品1									
	小 結	粘土・焼土の廃棄がみられる。掘り直しの可能性が高い。									

外周溝・M	規模	長さ	(4.53)m	幅	100cm	断面形	箱形
		深さ	30cm	幅	57cm	傾斜	西・東
	堆積土	2層に分層された。人為堆積か自然堆積かは不明である。					
	出土遺物	堆積土—土師器杯1、斐38、須恵器壺1、大甕2					
小結	102、103、143土等に切られ、全体の形状等は不明である。						

外周溝・M	規模	長さ	(2.60)m	幅	62cm	断面形	U字形
		深さ	18cm	幅	25cm	傾斜	西・東
	堆積土						
	出土遺物	堆積土—土師器杯3、斐18、須恵器壺2					
小結	北側は削平されて途切れる。						

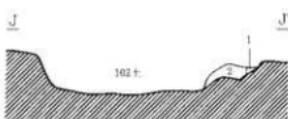
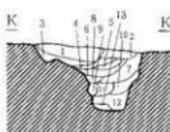
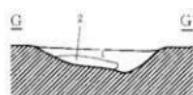
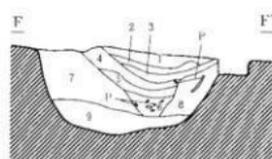
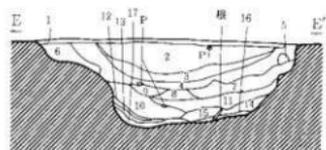


点号	高さ (cm)
1	10
2	31
3	21
4	22
5	23
6	43
7	40
8	45
9	47
10	36
11	42
12	56
13	28
14	31
15	30
16	40
17	30



第V-1-78图 第27·35·36号建物跡(1)





第155号 溝跡 (E-E')

- |      |      |           |                             |
|------|------|-----------|-----------------------------|
| 第1層  | 黒褐色土 | 10YR2/2   | ローム粒微量。                     |
| 第2層  | 黒色土  | 10YR2/1   | ローム粒多量、L.B微量。               |
| 第3層  | 黒褐色土 | 10YR2/2   | 火山灰層、炭化物、L.H、ローム粒微量。        |
| 第4層  | 黒褐色土 | 10YR2/2   | ローム粒少量、L.B (小) 微量。          |
| 第5層  | 黒褐色土 | 10YR2/3   | ローム粒少量。                     |
| 第6層  | 黒褐色土 | 10YR2/2   | ローム粒少量、L.B微量。               |
| 第7層  | 黒褐色土 | 10YR2/3   | L.B (大)、ローム粒多量、炭化物微量。       |
| 第8層  | 黒褐色土 | 10YR2/2   | L.B (小)、ローム粒微量。             |
| 第9層  | 黒褐色土 | 10YR3/2   | 砂中層、L.H (小)、ローム粒少量、炭化物微量。   |
| 第10層 | 黒褐色土 | 10YR2/2   | L.B中層、砂、ローム粒少量、炭化物微量。       |
| 第11層 | 黒色土  | 10YR1.7/1 | ローム粒、炭化物、砂、L.B (小)、ローム粒微量。  |
| 第12層 | 黒褐色土 | 10YR2/2   | ローム粒中層、砂少量。                 |
| 第13層 | 灰色土  | 10YR2/1   | 砂少量、L.B (小)、ローム粒微量。         |
| 第14層 | 灰色土  | 10YR1.7/1 | 炭化物少量、砂、ローム粒微量。             |
| 第15層 | 灰色土  | 10YR2/1   | 粘土、砂、ローム粒少量。                |
| 第16層 | 黒褐色土 | 10YR2/2   | 増殖面土 (大)、ローム粒少量、炭化物、粘土、砂微量。 |
| 第17層 | 黒褐色土 | 10YR2/2   | ローム土、粘土、砂、L.B、ローム粒少量。       |

第80号 土坑 (F-F')

- |     |       |         |               |
|-----|-------|---------|---------------|
| 第1層 | 黒褐色土  | 10YR2/3 |               |
| 第2層 | 黒褐色土  | 10YR2/2 |               |
| 第3層 | 粘赤褐色土 | 10YR6/6 | 火山灰。          |
| 第4層 | 暗褐色土  | 10YR5/4 |               |
| 第5層 | 褐色土   | 10YR4/4 | L.B、炭化物微量。    |
| 第6層 | 黒褐色土  | 10YR2/2 | 炭化物微量。        |
| 第7層 | 暗褐色土  | 10YR3/4 | ローム粒少量、炭化物微量。 |
| 第8層 | 灰色土   | 10YR2/1 |               |
| 第9層 | 暗褐色土  | 10YR3/4 | L.B、ローム粒少量。   |

第165号 溝跡 (G-G')

- |     |      |         |               |
|-----|------|---------|---------------|
| 第1層 | 灰色土  | 10YR2/1 | ローム粒微量。       |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | ローム粒少量、L.B微量。 |

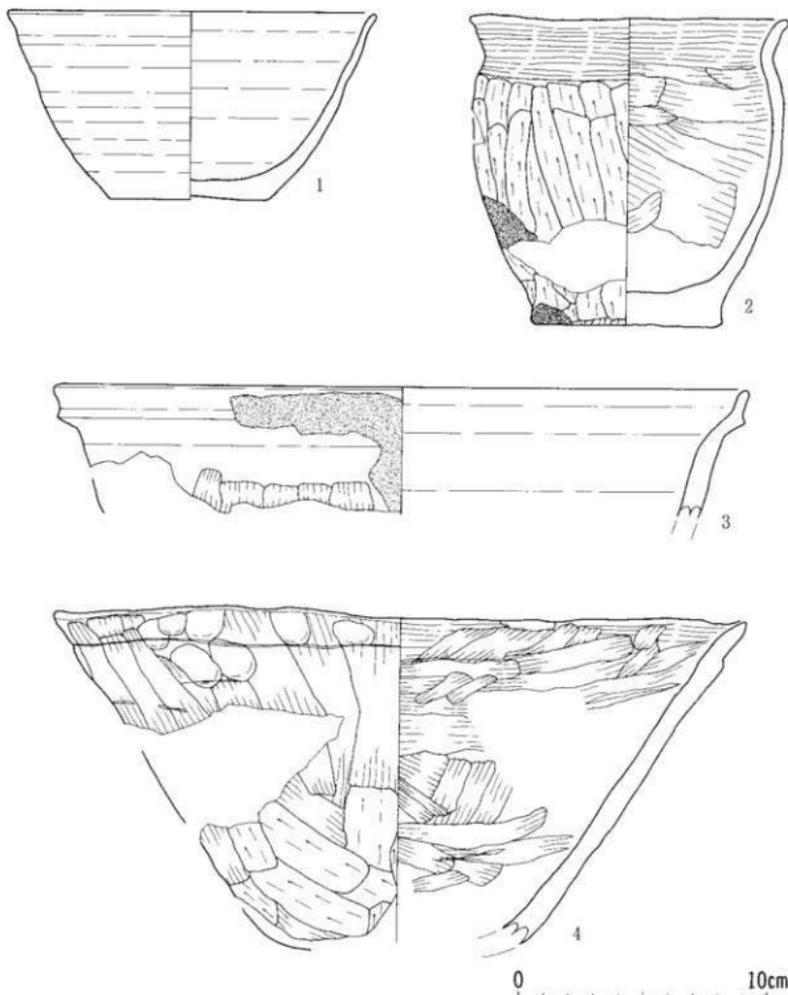
第128号 溝跡 (J-J')

- |     |      |           |                      |
|-----|------|-----------|----------------------|
| 第1層 | 灰色土  | 10YR1.7/1 | ローム粒少量、粘土微量。         |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YR2/2   | 粘土、ローム粒少量、炭化物、L.B微量。 |

第131号 溝跡 (K-K')

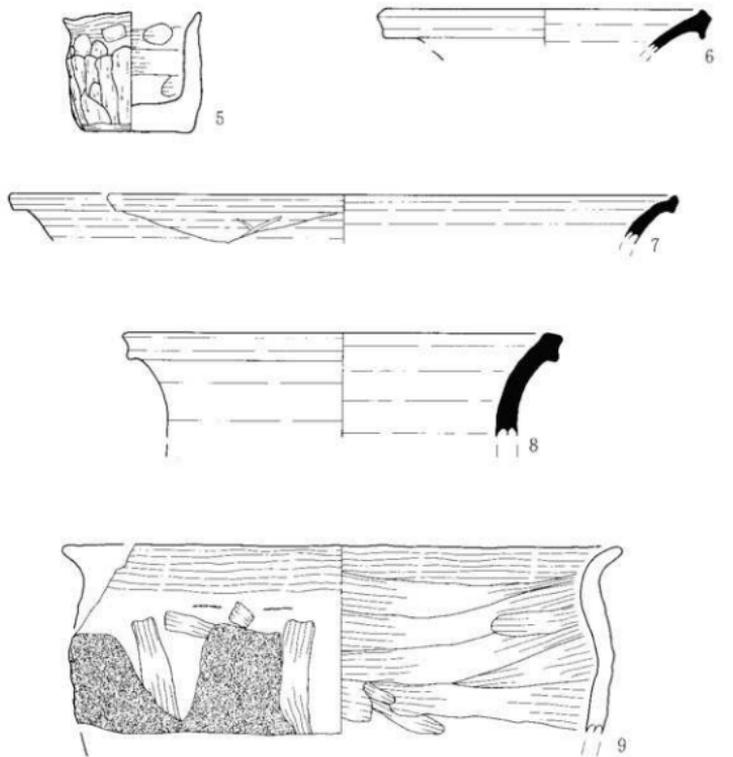
- |      |      |         |                                   |
|------|------|---------|-----------------------------------|
| 第1層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒少量、炭化物、L.B (小) 微量。            |
| 第2層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 炭化物、L.B (小)、ローム粒微量。               |
| 第3層  | 暗褐色土 | 10YR2/3 | 炭化物、ローム粒微量。                       |
| 第4層  | 黒褐色土 | 10YR2/3 | ローム土 (小) 微量、L.H (小)、ローム粒少量。       |
| 第5層  | 暗褐色土 | 10YR2/3 | ローム土 (小) 微量、L.B少量、炭化物、ローム粒微量。     |
| 第6層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | ローム土 (小) 微量、L.H (小)、ローム粒少量、炭化物微量。 |
| 第7層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | L.B、ローム粒少量、炭化物微量。                 |
| 第8層  | 黒褐色土 | 10YR2/2 | ローム土 (小) 微量、ローム粒中層。               |
| 第9層  | 黒褐色土 | 10YR2/1 | ローム土 (小)、ローム粒微量。                  |
| 第10層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒少量、L.B (小) 微量。                |
| 第11層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | ローム粒多量、L.H中層、炭化物微量。               |
| 第12層 | 灰色土  | 10YR2/1 | L.H (小)、ローム粒微量。                   |
| 第13層 | 灰色土  | 10YR2/1 | ローム粒少量、L.B微量。                     |

0 2m



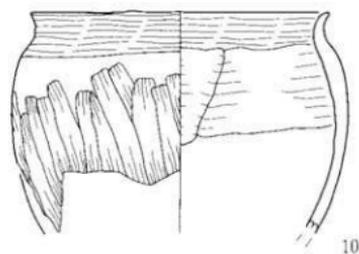
遺物番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)		外面調整				内面調整				底面調整	分類	備考	写真番号
				口径	器高	口縁	器縁	体上半部	体下半部	口縁	器縁	体上半部	体下半部				
1	土師器	鉢	フタ土	(14.8)	7.6	(6.3)	ロクロ	同輪末切り	二次焼成、磨耗								
2	土師器	小型甕	フタ土	(12.9)	12.4	7.2	ヨコナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヨコナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヘリナデ		ハタリ	
3	土師器	埴	フタ土	(28.0)	(5.0)		ロクロ	ヘリナデ		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ			消跡	
4	土師器	埴	フタ土	(27.7)	(12.9)		ヘリナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヨコナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヘリナデ	ヘリナデ			

第V-1-81図 第27・35・36号建物跡(4)



遺物番号	種類	器種	出土位置	寸法値 (cm)			外面調整		内面調整		式名調整	分類	備考	写真番号
				口径	高さ	幅径	縁部	体部上半	体部下半	縁部				
5	土製器	土	高サノ 敷土	5.3	4.8	4.5	ヨコナデヘラナデ ヘラナデ	ヨコナデヘラナデ	ヨコナデ	ヨコナデ				
6	須恵器	長形	テラコ 土	(13.4)	(1.6)		ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ			胎土分析-4 (輸入)	
7	須恵器	短形	テラコ 土	(17.6)	(3.9)		ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ			胎土分析-19 (五所川原)	
8	須恵器	大甕	テラコ 土	(53.0)	(4.2)		ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ			ヘラナデ記号、胎土分析-5 (輸入)	
9	土製器	甕	129 M テラコ 土	(22.4)	(7.5)		ヨコナデヘラナデ	ヨコナデヘラナデ					化粧粘土	

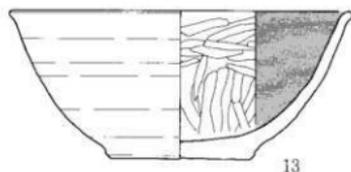
第V-1-82図 第27・35・36号建物跡(5)



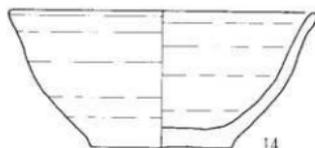
10



12



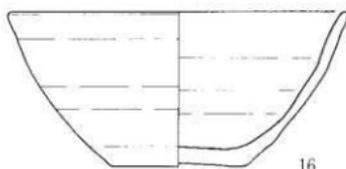
13



14



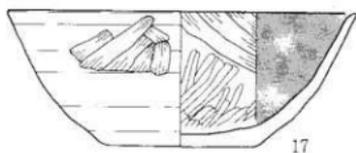
15



16

0 10cm

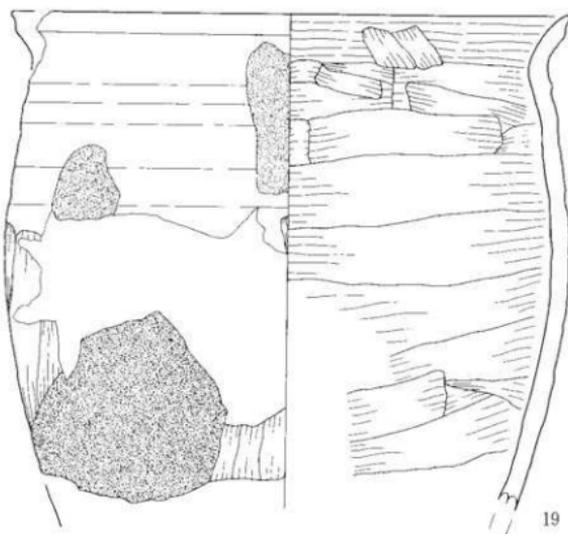
遺物番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)		外形調整				内面調整				灰白調整	分類	備考	写真番号
				口径	高さ	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径				
10	土器器	壺	155M アケ上	(11.9)		ヨコナテ	ヘラナテ			ヨコナテ	ヘラナテ						
11	須臾器	長頸壺	155M アケ上	(5.8)		ロケロ				ロケロ						ヘラ番号	
12	須臾器	大甕	155M アケ上	(8.5)			格子状 叩き目				当て具履 (平行)					船土分析-67(五橋川 原)	
13	土器器	鉢	155M アケ上	(13.7)	5.9	5.5	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	片面黒色処理	
14	土器器	鉢	155M アケ上	(12.4)	5.4	5.8	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	二次焼成	
15	須臾器	大甕	155M アケ上	(10.5)			格子状 叩き目				当て具履 (?)					船土分析-69(五橋川 原)	
16	土器器	鉢	155M アケ上	(13.7)	6.1	5.4	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	ロケロ	二次焼成、磨耗	



17



18

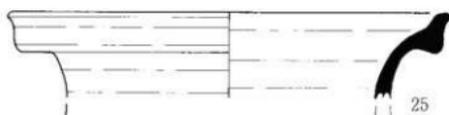
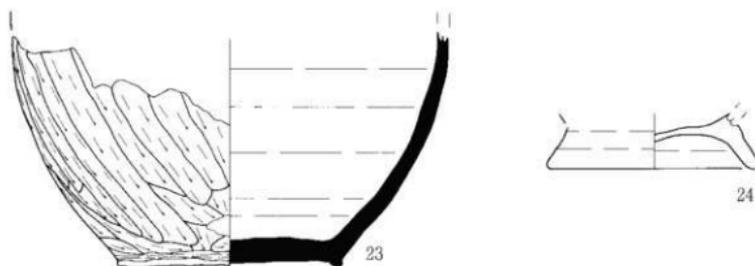
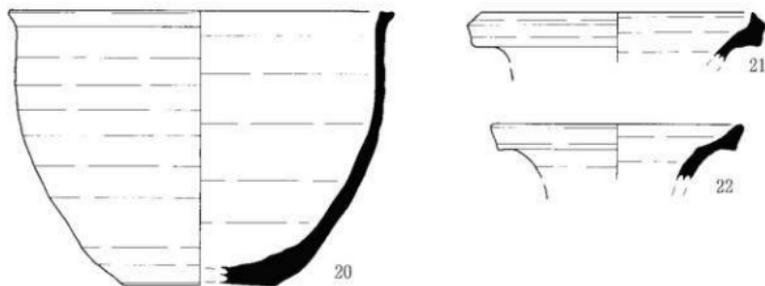


19

遺物 番号	種類	形状	出土位置	計測値 (cm)			外面調整				内面調整				底面調整	分類	備考	写真 番号	
				口径	器高	口径	口縁部	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半	体部下半							
17	土師器	鉢	80土 段上上	(14.0)	5.4	6.0	ロクロ	ヘラナナ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	二次焼成 内面着色処理	
18	土師器	鉢	80土 段上上	(13.9)	5.5	(5.3)	ロクロ	ヘラナナ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	一次焼成、ヘラナ 内面着色処理	
19	土師器	壺	80土 段上上	(22.3)	(19.7)		ロクロ	ヘラナナ	ロクロ	ヘラナナ	ロクロ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	ヘラナナ	粘上、スス	

0 10cm

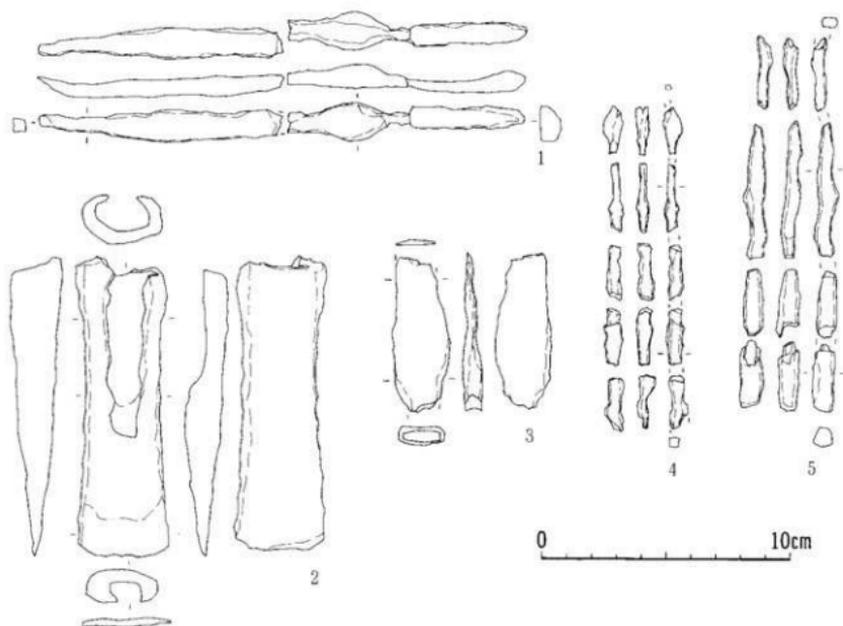
第V-1-84図 第27・35・36号建物跡(7)



0 10cm

遺物 番号	種類	素材	出土位置	寸法値 (cm)			外面調整			内面調整			底面調整	口縁	備考	写真 番号	
				口径	器高	底径	口縁	体部上半	体部下半	口縁	体部上半	体部下半					
20	須恵窑	鉢	80土 ツラ土	(16.4)	11.0	(6.2)	□ツロ	自然彫り									
21	須恵窑	兵部曲	80土 ツラ土	(12.0)	(2.0)		□ツロ			□ツロ					自然彫り		
22	須恵窑	兵部曲	80土 ツラ土	(10.2)	(2.2)		□ツロ			□ツロ							
23	須恵窑	兵部曲	132 ツラ土	M	(9.0)	9.0				□ツロ			菊花文		粘土分析-75 (五明山原)		
24	土師窑	鉢	185 ツラ土	M	(2.9)	(8.1)				□ツロ		□ツロ			高台部分		
25	須恵窑	短縁曲	185 ツラ土	M	(17.8)	(3.4)	□ツロ			□ツロ					粘土分析-71 (輸入)		

第V-1-85図 第27・35・36号建物跡(8)



遺物 番号	種別	時期	出土位置	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)	特 徴	備 考	発見 地力 No.
1	鉄製品	不明	27H SK3 上杭 土	190.5	16.0	12.0	33.5	刀身が鉄鍍か	分析実施	○ 09
2	鉄製品	沖	27H SK080 土坑 遺土	120.0	37.0	27.0	132.6	柄を収める付けるために 基部を折り曲げる	分析実施	△ 10
3	鉄製品	刀身	27H SK080 土坑 遺土	64.0	24.0	8.0	10.4	基部・対先欠損 明確な痕なし		△ 16
4	鉄製品	不明	27H SK4 上杭 土	114.0	9.0	8.0	4.4	釘か鉄線車の無縁か		× 14
5	鉄製品	不明	27H SK4 土坑	141.0	10.0	10.0	7.8	釘か鉄線車の無縁か 断面は長方形		× 14

第V-1-86図 第27・35・36号建物跡(9)

第28号建物跡観察一覧表

位置	F-G-32-33	図版番号	第V-1-87-89図	写真図版番号			
重複関係	95M、96M>28H 竅穴部、それに伴う掘立柱部は2度の建替えがなされた可能性が高い。						
壁	法 量	南 東 壁	北 西 壁	南 西 壁	北 東 壁		
		柱間寸法 1 (m)	3.29	3.21	4.12	4.11	
		柱間寸法 2 (m)	3.79	3.71	3.82	4.01	
		周溝一側 (m)	—	—	—	—	
	周溝深さ (m)	—	—	—	—		
平面形	長方形	床面積	1—約9.7㎡、2 約14.2㎡	主軸方位	N-131°-E		
準	検出されなかった。			床	ほぼ平坦である。		
周 壁	検出されなかった。						
穴	ピ ッ ト	竅穴部1-5個検出された。主柱穴は、P <sub>1</sub> 、P <sub>4</sub> 、P <sub>7</sub> ~P <sub>8</sub> と思われる。					
	か ま ど	竅穴部2-6個検出された。主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>8</sub> と思われる。					
部	遺存状態	検出されなかった。	位 置	不明である。			
	堆 積 土	検出されなかった。					
	出土遺物	床面—土師器環19、甕143、須恵器環4、壺2、大甕1、羽口1					
	附属施設	掘立柱建物跡2、外周溝—108M、土坑—78上 但し、151M (+92上)及び152M (+88上)は、108M以前の外周溝だった可能性がある。					
小 結	上部がかなり削平されており、主柱穴しか検出できなかった。 重複関係から、本建物跡の時期は9世紀末~10世紀初頭と思われる。						
掘立柱部1	規 模	桁行4間(総長7.98m—北)×梁行2間(総長3.49m—東)					
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。					
	柱 穴	径	28cm~41cmの円形の掘り方である。				
		深 さ	16cm~37cmである。				
	柱間寸法	桁行—	2.22m (7尺3寸)、1.16m (3尺8寸)、2.36m (7尺7寸)、 2.24m (7尺3寸)				
		梁行—	1.84m (6尺0寸)、1.65m (5尺4寸)				
出土遺物	なし。						
小 結	竅穴部1の面積 (13.2㎡) + 掘立柱部の面積 (27.9㎡) = 約41.1㎡ (約25畳)						
掘立柱部2	規 模	桁行2間(総長4.69m—北)×梁行1間(総長3.95m—東)					
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。					
	柱 穴	径	24cm~67cmの円形の掘り方である。				
		深 さ	26cm~38cmである。				
	柱間寸法	桁行—	3.13m (10尺3寸)、1.56m (5尺1寸)				
		梁行—	3.95m (12尺9寸)				
出土遺物	なし。						
小 結	竅穴部2の面積 (14.2㎡) + 掘立柱部の面積 (18.5㎡) = 約32.7㎡ (約20畳)						
外周溝・108M	規 模	長さ	22.3m	幅	120~195cm	断面形	箱形
		深 さ	20~30cm	幅	98~135cm	傾 斜	西→東
	堆 積 土	11層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒、炭化物を混入する。上位では白頭山火 山灰を検出した。					
		人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積上—土師器環1、甕23					
小 結	タイプ—南側は土坑が付随し、北側はそのままの幅である。						

外周溝・11M	規模	長さ (5.0)m	幅	100~132cm	断面形	箱形
		深さ 26cm	幅	40~59cm	傾斜	西→東
	堆積土	9層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒を混入する。上位から下位まで白頭山火山灰を検出した。人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器環1、甕19、須恵器大甕1				
小結	92土に連結、151M>152M					

外周溝・11M	規模	長さ 10.3m	幅	123~160cm	断面形	箱形
		深さ 65cm	幅	74~122cm	傾斜	西→東
	堆積土	27層に分層された。黒色土を主体とし、焼土、炭化物を混入する。上位で白頭山火山灰を検出した。下層は人為堆積、上層は自然堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器環1、甕34、須恵器環1、甕1				
小結	88土に連結、151M>152M、108M>152M					

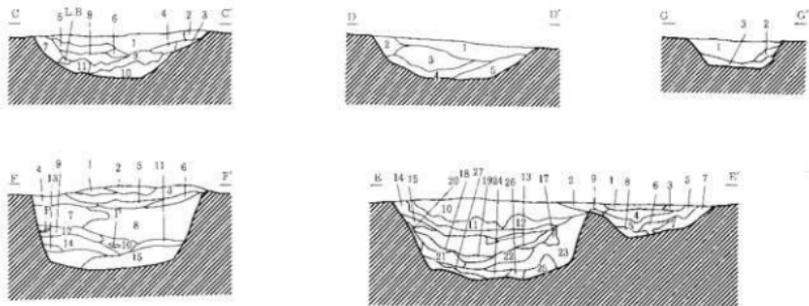
上坑・78土	平面形	楕円形	壁	ゆるやかに立上がる。	底面	ほぼ平坦である。
	規模	長軸 260cm	短軸	170cm	深さ	33cm
	堆積土	13層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒、炭化物を混入する。上位で白頭山火山灰を検出した。人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器28、須恵器2				
小結	78土>108M、伴わない可能性が高い。					

上坑・87土	平面形	楕円形	壁	直線的に外反する。	底面	平坦である。
	規模	長軸 (730)cm	短軸	203cm	深さ	36cm
	堆積土	18層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒を混入する。人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器37、須恵器1				
小結	焼土の廃棄が見られる。					

土坑・88土	平面形	楕円形	壁	直線的に外反する。	底面	平坦である。
	規模	長軸 295cm	短軸	150cm	深さ	65cm
	堆積土	15層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒、粘土ブロックを混入する。人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器25				
小結	焼土・粘土の廃棄がみられる。					

土坑・92土	平面形	楕円形	壁	直線的に外反する。	底面	平坦である。
	規模	長軸 138cm	短軸	77cm	深さ	21cm
	小結	なし。				





墜穴部 (C-C')

- 第1層 黒色土 10YR1.7/1 焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、褐色土少量。
- 第2層 黒色土 10YR2/1 褐色土、褐色土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒少量、焼土粒、炭化物微量。
- 第3層 黒色土 10YR1.7/1 焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、炭化物少量、炭化物微量。
- 第4層 黒色土 10YR2/1 褐色土少量、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第5層 褐色土 10YR4.6 焼土B、暗褐色土少量、黒色土微量。
- 第6層 黒色土 10YR1.7/1 炭褐色土少量、焼土粒微量。
- 第7層 黒色土 10YR1.7/1 褐色土少量、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第8層 黒色土 10YR1.7/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒、暗褐色土少量、焼土微量。
- 第9層 黒色土 10YR1.7/1 L.B.、 $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第10層 黒色土 10YR1.7/1 L.B.少量。
- 第11層 黒色土 10YR1.7/1 L.B.、 $\alpha$ - $\mu$ 粒中量、暗褐色土少量。

墜穴部 (D-D')

- 第1層 黒色土 10YR1.7/1 焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、褐色土少量。
- 第2層 黒色土 10YR1.7/1 焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、褐色土少量。
- 第3層 黒色土 10YR2/1 褐色土少量、L.B.中量、暗褐色土少量、焼土粒微量。
- 第4層 黒色土 10YR2/1 褐色土少量、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第5層 黒色土 10YR2/1 焼土粒、炭化物、褐色土微量。

第151-152号 溝跡 (E-E')

- 第1層 黒褐色土 10YR5.2 火山灰多量、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR2/2 火山灰、 $\alpha$ - $\mu$ 粒多量、炭化物微量。
- 第3層 黒灰土 10YR1.7/1 火山灰微量。
- 第4層 黒色土 10YR2/1 火山灰、焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第5層 黒色土 10YR1.7/1 火山灰、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第6層 黒色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒多量、暗褐色土少量、焼土粒、炭化物微量。
- 第7層 黒灰土 10YR1.7/1 火山灰、黒褐色土少量、焼土粒微量。
- 第8層 暗褐色土 10YR2.6 黒色土中量、火山灰、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、明黄褐色土少量、焼土粒微量。
- 第9層 暗褐色土 10YR3.3 焼土、 $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第10層 黒褐色土 10YR2.2 火山灰、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒多量、L.B.中量、黄色土少量。
- 第11層 黒色土 10YR1.7/1 火山灰、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、黒褐色土少量、焼土粒、炭化物微量。
- 第12層 黒色土 10YR1.7/1 暗褐色土少量、火山灰、焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第13層 褐色土 10YR2/1 焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒中量、火山灰微量。
- 第14層 褐色土 10YR1.7/1 焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒多量、L.B.中量。
- 第15層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第16層 褐色土 10YR1.7/1 焼土粒、炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第17層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量、焼土粒、炭化物微量。
- 第18層 暗褐色土 10YR3.3  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量、炭化物微量。
- 第19層 褐色土 10YR1.7/1 暗褐色土少量、焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第20層 黒灰土 10YR1.7/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第21層 褐色土 10YR1.7/1 L.B.少量、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第22層 褐色土 10YR1.7/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量、焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第23層 褐色土 10YR1.7/1 暗褐色土少量、焼土粒、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第24層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒多量、炭化物少量、焼土粒微量。
- 第25層 暗褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\mu$ 粒中量、焼土粒、炭化物微量。
- 第26層 暗褐色土 10YR2.2 L.B.中量。
- 第27層 褐色土 10YR2.7/1 L.B.中量、炭化物微量。

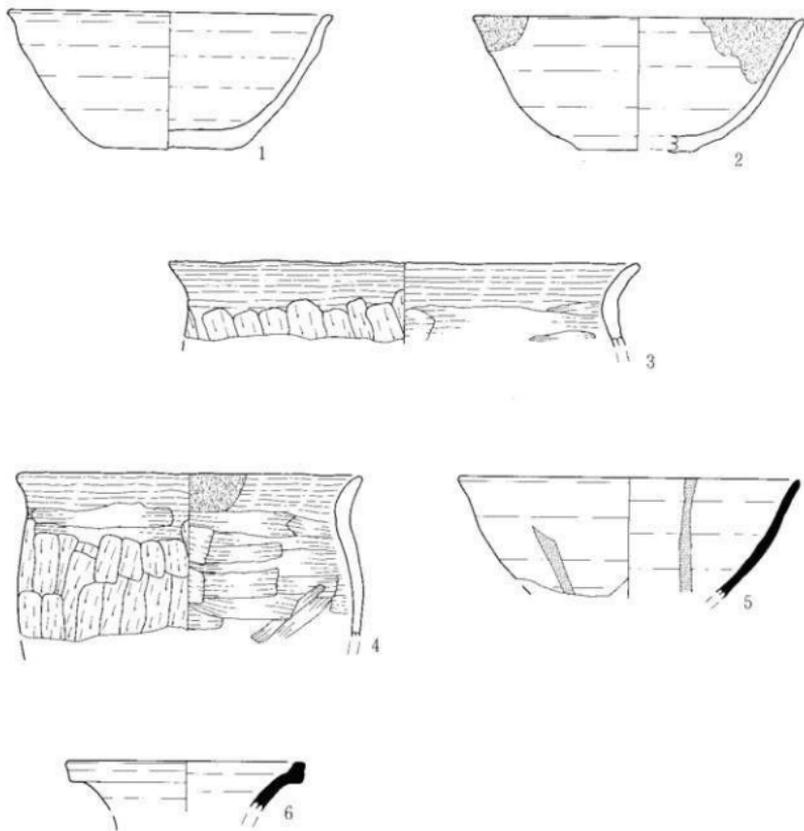
第88号 土坑 (F-F')

- 第1層 黒褐色土 10YR3/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR3/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第3層 褐色土 10YR2/1 炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第4層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第5層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第6層 褐色土 10YR2/1 L.B.微量。
- 第7層 褐色土 10YR2/1 炭化物、 $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第8層 褐色土 10YR1.7/1 炭化物微量。
- 第9層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第10層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第11層 褐色土 10YR2/1 粘土B、L.B.微量。
- 第12層 褐色土 10YR2/1 L.B.微量。
- 第13層 褐色土 10YR2/1 粘土B、 $\alpha$ - $\mu$ 粒、L.B.微量。
- 第14層 C $\mu$ 塊状土 10YR5/3 粘土B (大) 多量、焼土B、褐色土微量。
- 第15層 C $\mu$ 塊状土 10YR5/4 粘土B (小) 少量、褐色土微量。

第92号 土坑 (G-G')

- 第1層 褐色土 10YR1.7/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒微量。
- 第2層 褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量。
- 第3層 暗褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\mu$ 粒少量、焼土粒微量。

第V-1-88図 第28号建物跡 (2)



0 10cm

遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)			外面測定			内面測定			底面測定	分類	備考	写真 番号
				口径	高さ	底径	口縁	器体(上半)	器体(下半)	口縁	器体(上半)	器体(下半)				
1	土器	碗	アケ土	13.0	5.5	5.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ			
2	土器	碗	アケ土	(13.4)	5.5	(4.5)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ		片断	
3	土器	盤	アケ土	(18.9)	(3.3)		ロクロ	ヘラナダ	ヘラナダ	ロクロ	ヘラナダ	ヘラナダ				
4	土器	盤	アケ土	(17.9)	(6.4)		ロクロ	ヘラナダ	ヘラナダ	ロクロ	ヘラナダ	ヘラナダ				スス
5	須恵器	碗	アケ土	(13.7)	(4.8)		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ			欠デコト痕 絵二枚付(5番目)	
6	須恵器	辰柄碗	アケ土	(9.6)	(2.5)		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ					

第V-1-89図 第28号建物跡(3)

第32号建物跡観察一覧表

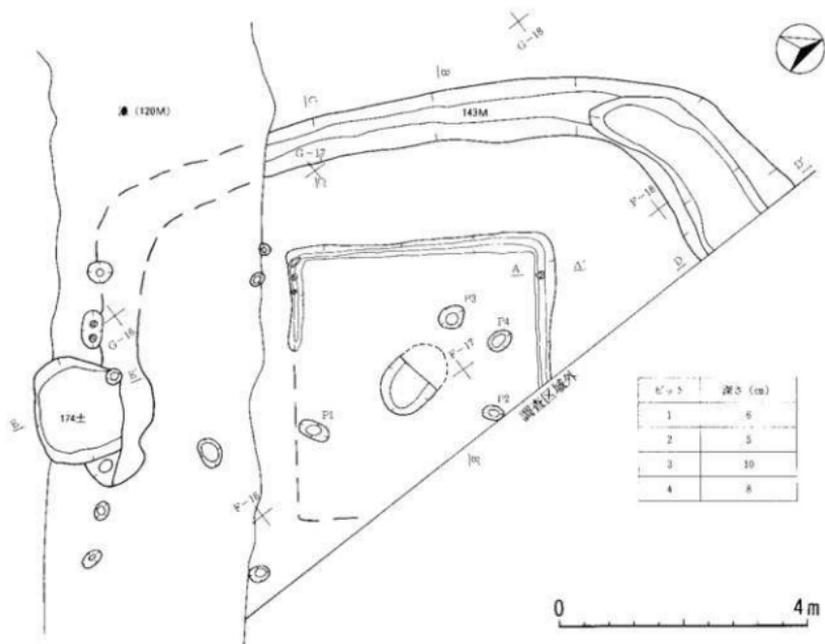
位置	F-17~18	図版番号	第V-1-90~91図	写真図版番号	
----	---------	------	-------------	--------	--

重複関係	環濠>32H
------	--------

壁	法 量	南東壁	北西壁	南西壁	北東壁		
		柱間寸法 (m)	(1.20)	(4.35)	(4.40)	(2.40)	
		壁 高 (m)	-----	-----	-----	-----	
		周溝一輪 (m)	-----	29	30	38	
穴	部	周溝深さ (m)	-----	24	28	26	
		平面形	正方形	床面積	約(19.1)㎡	主軸方位	N-120°-E
		壁	検出されなかった。			床	平坦である。
		周 壁	北西壁及び南壁・北壁の一部を巡る。				
部	部	ピット	4個検出された。 主柱穴は、不明である。				
		かまど	遺存状態	検出されなかった。	位置	不明である。	
		堆積土	内周溝堆積上のみ検出された。3層に分層され、ローム粒を混入する。 自然堆積と思われる。				
		出土遺物	なし。				
小	結	附属施設	掘立柱建物跡一検出できなかった。外周溝-143M、上坑-174上が伴う可能性が高い。				
		小 結	かなり削平されているために、遺存状態は非常に悪い。 重複関係や出土遺物から、本建物跡の時期は9世紀後半と思われる。				

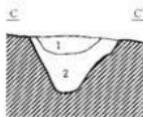
外周溝・M	規 模	長さ (8.5)m	幅	70~192cm	断面形	箱形
		深 さ	45~102cm	幅	18~91cm	傾 斜
	堆積土	10層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積上—土師器環4、甕22、乳煮器坏1				
小	結	南側は環濠に切れ、北側は調査区域外の延びているため、不明である。				

土坑・M	規 模	平面形	楕円形	壁	直線的に外反する。	底 面	平坦である。
		長 軸	170cm	短 軸	(104)cm	深 さ	56cm
	出土遺物	なし。					
	小 結	環濠により削平されている。					



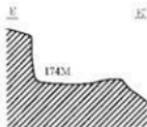
整次部 (A-A')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 □-△粒少量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 □-△粒少量、黒色土微量。  
 第3層 暗褐色土 10YR3/3 □-△粒多量、黒褐色土少量。



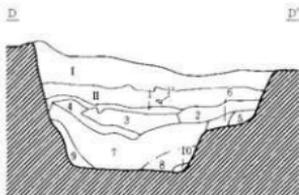
第143号 溝跡 (C-C')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 □-△粒多量、L.B中量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 □-△粒中量、L.R、黒色土少量。



第143号 溝跡 (D-D')

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 □-△粒中量、黒色土少量。  
 第2層 黒色土 10YR1.7/1 □-△粒少量。  
 第3層 暗褐色土 10YR2/3 L.B、□-△粒多量。  
 第4層 褐色土 10YR2/1 L.B、□-△粒少量。  
 第5層 暗褐色土 10YR4/6 黒色土多量。  
 第6層 暗褐色土 10YR2/3 黒色土中量。  
 第7層 褐色土 10YR2/1 L.B、□-△粒中量。  
 第8層 褐色土 10YR2/1 □-△粒少量。  
 第9層 褐色土 10YR2/1 L.B少量、□-△粒微量。  
 第10層 暗褐色土 10YR5/6 □-△粒。



第V-1-90图 第32号建物跡(1)



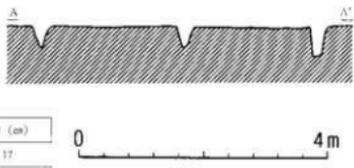
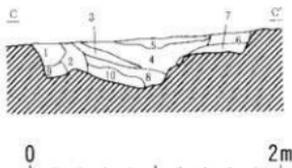
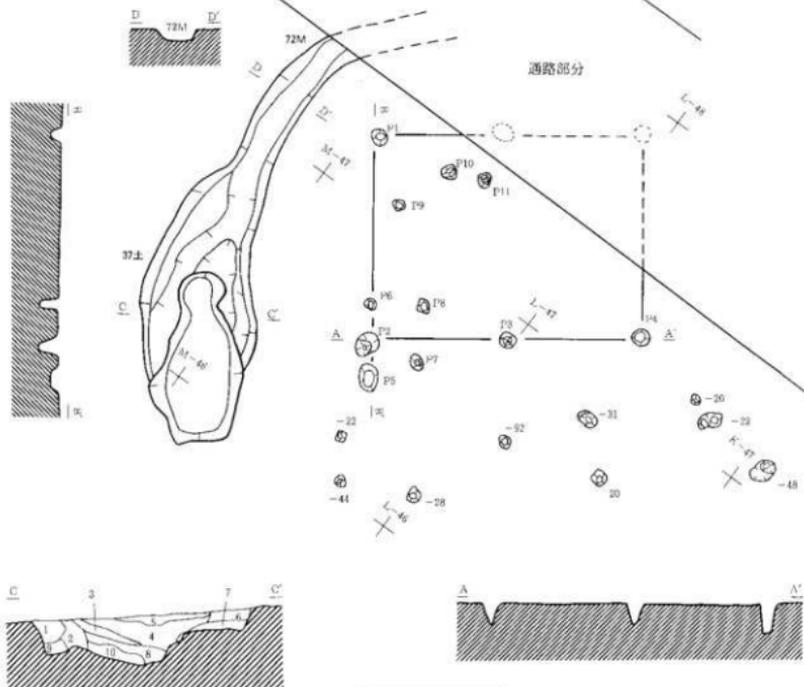
0 10cm

遺物番号	種類	西暦	出土位置	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			底面調整	分類	備考	写真番号	
				口徑	器高	底径	口縁	胴体上半	胴体下半	口縁	胴体上半	胴体下半					
1	須臾器	坪	143 M 7ア1	12.4	5.0	5.0	ローロ	陶板未切り	灰色		新十分館一五(八入)						

第V-1-91図 第32号建物跡(2)

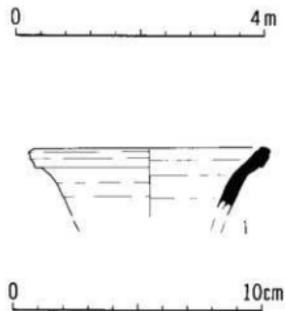
第34号建物跡観察一覧表

位置		K~M-45~47		図版番号		第V-1-92図		写真図版番号		16-6	
重複関係 13日、14日との新旧関係は不明である。											
壁	法量	南東壁		北西壁		南西壁		北東壁			
		柱間寸法 (m)		4.28		(4.30)		3.24		(3.23)	
		壁高 (m)		—		—		—		—	
		周溝幅 (m)		—		—		—		—	
	周溝深さ (m)		—		—		—		—		
穴部	平面形	長方形		床面積		約(13.9)㎡		主軸方位		N-135°-E	
	壁	検出されなかった。						床		ほぼ平坦である。	
	周壁	検出されなかった。									
	ビット	20個検出された。 主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>4</sub> と思われる。									
	かまど	遺存状態		検出されなかった。		位置		不明である。			
	堆積土	なし。									
	出土遺物	なし。									
	附属施設	樹立柱建物跡一なし、外周溝-72M、土坑-37土									
	小結	上部がかなり削平されている上に、耕作車用通路を残したため、全体の2分の1は検出不可能であった。 重複関係や出土遺物から時期を特定するには至らなかった。そのため、本建物跡の時期は不明とせざるを得ない。									
	外周溝・72M	規模	長さ (6.0)m		幅		65cm		断面形		箱形
深さ 20cm			幅		40cm		傾斜		西→東		
出土遺物		堆積土-土師器坪1、甕11									
小結	タイプ-北側の末端はしっぽ状に狭まる。										
土坑・37土	平面形	楕円形		壁		ゆるやかに立上がる。		底面		東側に傾斜している。	
	規模	長軸 332cm		短軸		190cm		深さ		80cm	
	堆積土	10層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、焼土、粘土を混入する。 人為堆積と思われる。									
	出土遺物	堆積土-土師器2									
小結	掘り直し又は別の土坑が存在する。										



- 層別号 土質 (C-C')
- 第1層 褐色土 10YR6/4 L, 弱中層。
  - 第2層 深褐色土 10YR2/2 R, α-粘中層。
  - 第3層 深褐色土 10YR2/3 R, α-粘中層。
  - 第4層 深褐色土 10YR2/2 L, β, α-粘少量, 炭上、炭化物微量。
  - 第5層 深褐色土 10YR2/2 L, β, α-粘少量, 炭上、炭化物微量。
  - 第6層 深褐色土 10YR2/3 R, α-粘少量, 炭上微量。
  - 第7層 深褐色土 10YR2/2 L, H少量, α-粘少量。
  - 第8層 褐色土 10YR4/4 L, 砂質, 粘土少量。
  - 第9層 深褐色土 10YR2/2 R, α-粘少量, 炭上微量。
  - 第10層 深褐色土 10YR2/2 L, 弱中層, α-粘少量。

層別号	深さ (cm)
1	17
2	26
3	33
4	47
5	10
6	29
7	25
8	29
9	44
10	53
11	43



遺物 番号	種類	石種	出土位置	計測値 (cm)			外 形 面 積			計 測 部 位			底面面積	体積	備 考	写真 番号
				口径	高さ	底径	口縁	底	上部	下部	上部	下部				
1	須き器	長頸壺	72M 之上	(9.8)	(2.8)		○	○	○							

第V-1-92図 第34号建物跡

第37号建物跡観察一覧表

位置	I~L-92~96	図版番号	第V-1-93~95回	写真図版番号	16-7
----	-----------	------	-------------	--------	------

重複関係	30M、31M、6H>37H
------	----------------

部	法 量	柱間寸法 (m)	3.00	3.00	3.05	3.06
		壁 高 (m)	—	—	—	—
		周溝幅 (m)	—	—	—	—
		周溝深さ (m)	—	—	—	—
	平面形	(正方形)	床面積	約(9.2)㎡	主軸方位	N-107°-E
	壁	検出されなかった。			床 平坦である。	
	周 壁	検出されなかった。				
	ピット	4個検出された。 主柱穴は、P <sub>1</sub> ~P <sub>4</sub> と思われる。				
	かまど	遺存状態	検出されなかった。	位置	不明である。	
	堆積土	なし。				
出土遺物	なし。					
附属施設	掘立柱建物跡1、外周溝-20M、40M、土坑-15土、26土					
小 結	上部がかなり削平されており、柱穴しか検出できなかった。 外周溝が一部塗切れる。					

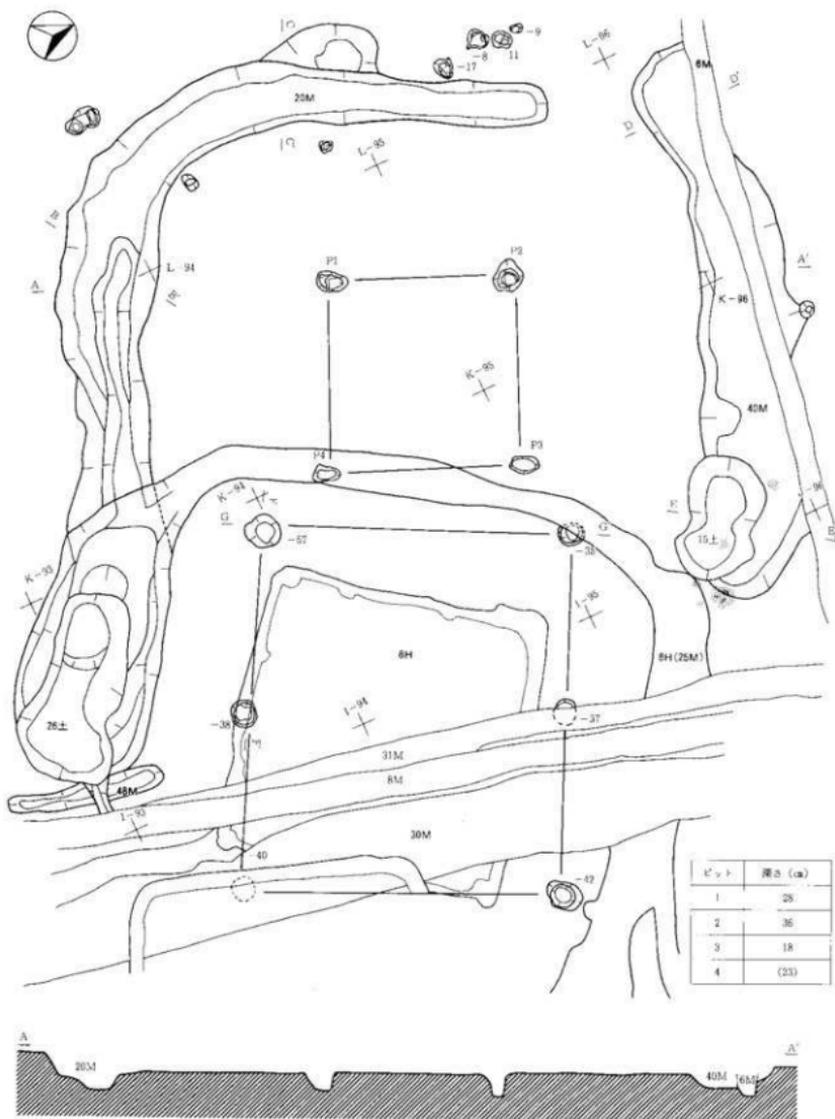
掘立 柱部	規 模	桁行2間(総長5.88m-北)×梁間1間(総長4.92m-西)			
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。			
	柱 穴	径	22cm~61cmの円形の掘り方である。		
		深 さ	35cm~57cmで、掘り込みが深い。		
	柱間寸法	桁行—2.94m(9尺7寸)、2.94m(9尺7寸) 梁間—4.92m(16尺2寸)			
	出土遺物	なし。			
小 結	竪穴部の面積(9.2㎡)+掘立柱部の面積(28.9㎡)=約38.1㎡				

外周溝 ・ 20 M	規 模	長さ (12.2)m	幅	63~156cm	断面形	箱形	
		深 さ	48~68cm	幅	38~93cm	傾 斜	西・東
	堆積土	29層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物、粘土を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土-土師器甕1					
小 結	逆「L」字形、東端に土坑が付随する。						

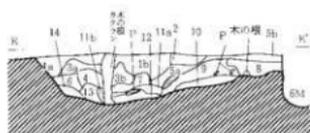
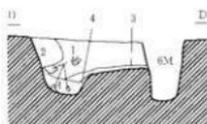
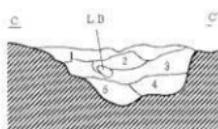
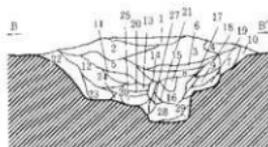
外周溝 ・ 40 M	規 模	長さ 9.0m	幅	110~175cm	断面形	箱形	
		深 さ	44cm	幅	60~102cm	傾 斜	西・東
	堆積土	4層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、粘土を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	なし。					
小 結	直線的、東端に土坑が付随する。						

土 坑 ・ 26 土	平面形	楕円形	壁	ゆるやかに立上がる。	底面	平坦である。	
	規模	長軸	(410)cm	短軸	221cm	深さ	55cm
	堆積土	15層に分層された。黒褐色土を主体とし、混入物は、炭化物、焼土、ローム粒、粘土である。 下半は人為堆積、上半は自然堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土一土師器25、須恵器2					
小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。6Hに転用されていると考えられる。						

土 坑 ・ 15 土	平面形	楕円形	壁	ゆるやかに立上がる。	底面	丸底状を呈する。	
	規模	長軸	200cm	短軸	118cm	深さ	40cm
	堆積土	11層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒、炭化物、焼土を混入する。 下半は人為堆積、上半は自然堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土一土師器15、須恵器2 ※須恵器は五所川原産と推定された					
小結	粘土・焼土の廃棄がみられる。破壊したカマドの部材か。						



第V-1-93図 第37号建物跡(1)



#### 第20号 溝跡 (B-B')

- 第1層 赤色土 10YR2/1 炭化物、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2 L.B (A) 少量、L.H (小) 微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 L.H (A) 中量、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第5層 赤褐色土 10YR2/3  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、炭化物微量。
- 第6層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第7層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第8層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、炭化物微量。
- 第10層 赤褐色土 10YR2/3  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、炭化物微量。
- 第11層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、L.H 微量。
- 第12層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、L.B (小) 微量。
- 第13層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第14層 赤褐色土 10YR2/4 L.H、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第15層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第16層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、L.B (小) 微量。
- 第17層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、L.B (小) 微量。
- 第18層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、L.H (小) 微量。
- 第19層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、粘土 B (A) 微量。
- 第20層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第21層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第22層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量、粘土 (小) 微量。
- 第23層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量、粘土 (小) 微量。
- 第24層 褐色土 10YR4/6  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、粘土 B (A) 微量。
- 第25層 褐色土 10YR4/6  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、粘土 B (A) 微量。
- 第26層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、炭化物微量。
- 第27層 褐色土 10YR4/6  $\alpha$ - $\alpha$ 粒、粘土微量。

#### 第7号 溝跡 (L-94) ② (C-C')

- 第1層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、砂、L.B 微量。
- 第2層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、L.B (A) 微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR3/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第4層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、砂少量、粘土、L.H 微量。
- 第5層 褐色土 10YR4/4 粘土多量、炭化物微量。

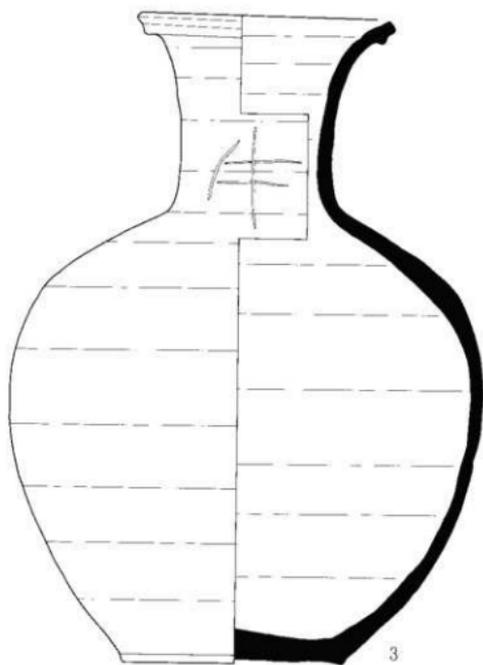
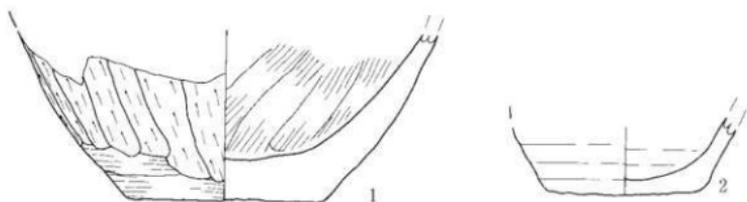
#### 第15号 土坑 (E-E')

- 第1層 赤褐色土 10YR2/2 黄土粒、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第2層 赤色土 10YR1/7 黄土粒、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒微量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、L.B、黄土粒少量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、L.B、黄土粒少量。
- 第5層 赤褐色土 10YR2/3 黄土粒、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒、炭化物少量。
- 第6層 赤褐色土 10YR2/2 黄土粒、砂、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第7層 赤褐色土 10YR4/3  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量。
- 第8層 赤褐色土 10YR3/3  $\alpha$ - $\alpha$ 粒多量、L.B少量、炭化物微量。
- 第9層 赤褐色土 10YR2/3  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、L.B少量。
- 第10層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、炭化物少量。
- 第11層 赤褐色土 10YR2/2  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量、黄土粒、炭化物微量。
- 第12層 赤褐色土 10YR2/1 黄土粒、炭化物、粘土、L.B 微量。
- 第13層 赤褐色土 10YR2/3 黄土粒、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第14層 赤褐色土 10YR2/2 粘土、砂、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。

#### 第14号 土坑 (D-D')

- 第1層 赤褐色土 10YR2/2 L.H 少量、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第2層 赤色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。
- 第3層 赤褐色土 10YR2/1  $\alpha$ - $\alpha$ 粒中量、L.B、粘土少量。
- 第4層 赤褐色土 10YR2/2 粘土多量、L.B 中量、 $\alpha$ - $\alpha$ 粒少量。

第V-1-94图 第37号建物跡(2)



0 10cm

遺物 番号	種類	器種	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			底面調整	分類	備	考	写真 番号	
			出土位置	口径	器高	口径	口縁部	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半						体部下半
1	土師器	甕	15+														
			フク土	(6.9)	7.8				ヘコナナ	ヘコナナ	ヘコナナ						
2	土師器	小型甕	15+														
			フク土	(2.7)	(6.0)				ウツロ		ウツロ						
3	須恵系	長縁甕	15+	10.3	25.9	8.9	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ	ウツロ
			フク土														

第V-1-95図 第37号建物跡(3)

第38号建物跡観察一覧表

位置	F～G-22～24	図版番号	第V-1-96図	写真図版番号	16-8
----	-----------	------	----------	--------	------

重複関係	142M、110L>38H>144M 竪穴部は2度の建替えの可能性が高い。その新旧関係については不明である。
------	---

部	法 量		南 東 壁	北 西 壁	南 西 壁	北 東 壁	
		柱間寸法 1 (m)	——	5.28	(3.60)	(2.68)	
		柱間寸法 2 (m)	——	5.58	(3.06)	(0.99)	
		周溝-幅 (m)	——	——	——	——	
	周溝深さ (m)	——	——	——	——		
	平 面 形	長方形	床面積	1-約(19.0)m <sup>2</sup> 、2-約(19.0)m <sup>2</sup>	主軸方位	N-125°-E	
	壁	検出されなかった。			床	削平されて不明である。	
	周 壁	検出されなかった。					
	穴	竪穴部1-6個検出された。主柱穴は、P <sub>1</sub> ～P <sub>3</sub> 、P <sub>7</sub> と思われる。					
	ピット	竪穴部2-8個検出された。主柱穴は、P <sub>4</sub> ～P <sub>6</sub> と思われる。					
かまど	遺存状態	検出されなかった。		位 置	不明である。		
堆積土	攪乱と削平のため不明である。						
出土遺物	なし。						
附属施設	掘立柱建物跡-検出できなかった、外周溝-191M、土坑-なし						
小 結	かなり削平されており、柱穴のみ検出された。 全体の4分の3は、調査区域外及び耕作車用通路部分に延びる。 重複関係から本建物跡の時期は10世紀前半～中葉と思われる。						

外 周 溝 ・ 出 土 M	規 模	長 さ	(8.1)m	幅	60～210cm	断面形	箱形
		深 さ	23cm	幅	28～178cm	傾 斜	西→東
	堆積土	2層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローソ粒を混入する。 人為堆積と思われる。					
	出土遺物	堆積土-土師器甕24					
	小 結	タイプ-北側が広がる。両端は調査区域外に延びる。					

